

創立 百周年

創立百周年記念誌



新潟県立新潟県央工業高等学校



創立 百周年

創立百周年記念誌



三条商工学校以来の校章を同窓会の「同」の文字で作り、同窓生の融和をイメージしている。
中央上は、100年の伝統を受け継いだ現在の校章。

新潟県立新潟県央工業高等学校



新潟県立工業高等学校 校章の由来

校章の図形は三つの図形で構成されている。
 一つは、漢字の「人」のような図形であり、これは信濃川と五十嵐川が合流する県央の地形を表している。
 一つは、外側の三角形であり、前身である燕工業高校の校章の図形である。その三角形と円弧は、知識、心情、意欲と豊かな人間性を表し、技能を積極的に学びとるという覚悟の結集を示している。
 一つは、内側の三角形であり、前身である三条工業高校の校章の図形である。その三角形と三本の線は、安定と秩序、協調、団結を表し、若いエンジニアの理想を示している。
 これらの三つの図形を合成した形は、人が真中に立っている状態を記号化した象形文字の「央」を表し、前身である二つの学校が目指した理想と伝統を引き継ぎ、発展させていくという覚悟を示している。

校章と同窓会マークは共に佐藤則雄氏(三工S42年卒)による



新潟県立工業高等学校校歌

作詞 藤沢 周
 作曲 清水 研

清廉の雪 弥彦の
 光胸にしテクノロジスト
 風煌いて無限なる
 信濃川から学びては
 宇宙を創る情熱と 平和を咲かすわれらが母校
 新潟県央 県央工業

まばゆい飛沫日本海
 銀河と結ぶエンジニア
 新たな波濤に力浴び
 協調の歌響かせば
 自主創造の魂と 愛生む知性のわれらが母校
 新潟県央 県央工業

穏やかなるか 青雲の
 みなぎる息吹スペシヤリスト
 広がる自然の叡智受け
 秩序の調べに満ちたれば
 熱き慈愛の友情と 未来を築くわれらが母校
 新潟県央 県央工業

燕工業高等学校



燕工業高等学校校歌

作詞 宮 柁二
 作曲 小松 清

一、ふるさとの 中の口川
 雲を映し 水は下る
 思えよ 学を (思えよ 学を)
 たましいの 若く雄々しく
 尽きず波まん 学ばん
 師あり友あり いざ学ばん
 燕 燕 燕工高

二、蒲原の はさの木のう上
 風はみちて 間なく響く
 思えよ 生を (思えよ 生を)
 われを待つ 祈の声と
 絶えず聞かん 励まん
 師あり友あり いざ励まん
 燕 燕 燕工高

三、一之宮 弥彦の山
 西の空に 常に聳ゆ
 思えよ 技を (思えよ 技を)
 技こそは 明日を創らん
 勢い往かん 拓かん
 師あり友あり いざ拓かん
 燕 燕 燕工高

三条工業高等学校



三条工業高等学校校歌

作詞 宮 柁二
 作曲 別宮 貞雄

一、弥彦山さらに守門、信濃川さらに五十嵐
 指させば山川光る
 新しき風 新しき感情
 培いて母校あり
 三条工高 工業高校
 伝統をわれら築かん
 われらエンジニア

二、情熱さらに叡智 跳躍さらに静思
 かえりみん青春の日々
 あざやけき旗 あざやけき技術
 呼びかけて母校あり
 三条工高 工業高校
 創造をわれら目指さん
 われらエンジニア

三、協調さらに自主 創意してさらに秩序
 綜すべし学と生活
 豊かなる音 豊かなる未来
 示しつつ母校あり
 三条工高 工業高校
 重き扉をわれら開かん
 われらエンジニア

三条商工学校・三条工業学校



三条商工学校校歌

作詞 相馬 御風
 作曲 東京音楽学校

一、五十嵐川の水清く つきぬ流れの時の間も
 雲漲らす煙突の 聳ゆる下の揺籃地
 母校の健児勇み起て ここぞ我等の舞台なる

二、国の礎永久に 築き上げんと商工業の
 智識織り込む校庭に のぼる朝日の影しるく
 香雲ふかく立ちこめて 我等が行く手照すなり

三、日本海の岸に寄る 潮の花の香に匂ふ
 学と術とを磨きつつ 高き巻も巻ばしく
 母校の名をば永遠に 輝せよや健男児

三条実業高等学校



三条実業高等学校校歌

作詞 中野二三郎
 作曲 波多野 修

一、暗れわたる守門の高嶺 陽はのぼり
 紅匂う白雪の 汚れに染まぬ
 青春の胸にはぐくむ 思想は無限
 仰げ我等が 久遠の理想

二、水清き 五十嵐川の末遠く
 流るるところ緑なす 若草萌ゆる
 学舎に辿る 向上の道ひとすじに
 ほこれ我等が 輝く希望

三、国おこす 実の業をたゆみなく
 いそしみ学び険しき世 心あかるく
 生きぬきて 築く日本の礎かたし
 はたせ我等が 尊き使命

創立100周年記念誌 発刊にあたって



同窓会会長
川崎 国雄 (S36年卒)

冒頭に、新潟県立工業高等学校創立100周年を迎えるにあたり三条市を中心とする県央地域の皆様から物心両面にわたる多大なご協力をいただきました。ここに衷心から御礼を申し上げます。

明治44年創設の母校は平成23年に満100周年を迎えましたが、創立が一緒である三条商業高等学校との歴史的な関係もあり、昭和38年の商工分離以来、周年事業は分離独立から起算して2年遅れで実施してきました。

今年には102年目。母校にとっての創立100周年記念事業の実施年です。

母校は創立以来の歴史の中で、実に多くの変遷を経ながら今日を迎えました。

学校名だけでも、三条商工学校、三条工業学校、三条実業高等学校、三条工業高等学校、三条実業高等学校燕分校、燕工業高等学校を経て、現在の新潟県立工業高等学校は7つ目です。この変遷は、日本の歴史、産業界の歴史、地域の歴史と、それぞれの変化に適応してきたもので、実業系学校の持つ使命ともいえるべきものでした。

この歴史を整理して残すべく、記念誌を発行することにしたわけですが、資料はあまりにも膨大でありながら、永年の歳月の中で消失しているものや保存限界にあるもの、さらには水害で破損したものと、100年の時空の長さを物語っているものでした。

そこで、複雑かつ膨大なものを整理する最後の機会であること、より正確で後世の資料になりうるものとしてシンプルにデジタル化して残すことに編集目的を整理して作業にあたってもらいました。

したがって、一般的にいう記念誌とは違和感を持たれるかも知れませんが、本誌発行の趣旨をご理解いただければ幸いです。

母校は平成24年、山岳部の全国高校総体での優勝、平成24年度新潟県高等学校体育連盟スポーツ年間最優秀校受賞など、すでに100周年以降の歴史を逞しく刻んでいます。留まることなく発展し続けることを熱望して、発刊の挨拶といたします。

創立百周年記念誌 発刊に寄せて



新潟県立新潟県立工業高等学校長
笹川 民雄

新潟県立工業高等学校創立百周年にあたり、創立百周年記念誌が発刊されますことは、誠に大きな喜びであります。

本校は、明治44年南蒲原郡立三条商工学校として産声を上げ、大正11年に県立に移管されました。戦時体制下の昭和19年に三条工業学校と改称し、戦後の学制改革により昭和23年に三条実業高等学校として新たな出発をしました。その後、高度経済成長期の昭和38年に三条工業高等学校として分離独立し、現在の地に移転しました。さらに、生徒数の減少や産業構造の変化などにより平成16年に三条工業高等学校と燕工業高等学校を統合し、県央地域の工業の拠点校として新潟県立工業高等学校と改称し現在に至っています。創立以来、二万四千有余名の卒業生を送り出してきました。

明治、大正、昭和、平成と激動する時代の中で、本校は一貫して地場産業の歴史と伝統を有する県央地域をはじめ、県内外に産業を担う多くの有為な人材を輩出してきました。多くの皆様のお力添えにより、幾多の困難を乗り越え、記念すべき日を迎えることができる喜びを分かち合いたいと思います。

本校は部活動において近年、著しい成果を挙げています。平成20年に野球部が甲子園に出場し、平成24年には北信越かがやき総体で山岳部が全国制覇を成し遂げました。さらに平成24年度県高体連スポーツ年間最優秀校に輝きました。これらの成果は先輩諸氏が築かれた伝統と同窓会をはじめ地域の皆様の物心両面にわたるご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、アジア諸国の発展、経済のグローバル化、少子高齢化などにより我が国は大きな変革期にあります。工業の分野でも、これまで以上に独創性と創造性が必要とされ、付加価値の高いものづくり、グローバル社会で活躍できる人づくりが求められています。本校は次の百年に向け、新たな工業教育の歩みを進めてまいります。今後とも本校発展のために皆様の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本記念誌の発刊にあたり、御協力・御尽力いただきました関係各位の皆様へ深く敬意と感謝の意を表します。

新潟県立工業高等学校 創立百周年にあたり



新潟県知事

泉田 裕彦

新潟県立新潟県立工業高等学校創立百周年にあたり、心からお祝い申し上げます。

当校は、向学心に燃える子どもたちへの教育を願う地域の方々の並々ならぬ熱意により、明治44年南蒲原郡立三条商工学校として開校しました。その後、学制改革により昭和23年に県立三条実業高等学校となり、商業科と工業科の分離に伴い、昭和38年県立三条工業高等学校として独立しました。平成16年には県立燕工業高等学校と統合して、新潟県立工業高等学校に改称し、県央地域における工業教育の拠点校として大きな期待が寄せられています。

開校以来、一世紀の長きにわたり、当地域における前途有為な若者の学舎として、24,000有余名の優れた人材を輩出し、その多くの方々が、県内外の各界、各分野で活躍されておりますことは、歴代の校長先生をはじめとする教職員の皆様の教育に対する限りない情熱と、同窓会並びに地域・保護者の皆様の長年にわたる御支援、御協力の賜物であり、心から敬意と感謝の意を表す次第であります。

今日、我が国は、科学技術や経済活動などのあらゆる分野で世界各国と協力し、さらにリーダーシップを発揮しながら環境問題をはじめとする幾多の課題を解決しなければならない大きな役割を担っております。このような状況の下、様々な課題に対して主体的に取り組む意欲や、進取の精神を持つ国際感覚豊かな若者を育てるための教育がますます重要となっております。

こうした中、新潟県では「新潟県『夢おこし』政策プラン」を策定し、学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進、勤労観や職業観を育むキャリア教育の推進等を柱とした教育の充実に取り組んでいるところであります。

校長先生をはじめ、教職員の皆様には、今後も国、県、地域における時代の要請を踏まえ、生徒の個性や能力を伸ばし、地方から世界につながる拠点として、新潟県の未来を築く人材の育成に努めていただくことをお願い申し上げます。また、教育は、学校においてのみ行われるものではありません。同窓生や保護者、そして地域の皆様が一体となって、当校の教育に対してさらなる御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。

結びに、この百周年を契機に、県立新潟県立工業高等学校が輝かしい歴史と伝統をふまえ、より高い理想を目指して邁進され、生徒・保護者や地域、県民の期待に応え、一層の発展を遂げられますよう御祈念いたしまして、お祝いいたします。

創立百周年にあたり



新潟県教育委員会教育長

高井 盛雄

新潟県立新潟県立工業高等学校創立百周年にあたり、県教育委員会を代表して、心からお祝い申し上げます。

当校は、地域の方々の教育に対する並々ならぬ熱意と期待を受け、明治44年に新潟県南蒲原郡立三条商工学校として開校されました。その後、大正11年に県に移管され、昭和23年の学制改革に伴い新潟県立三条実業高等学校となり、同38年4月には商業科と工業科の分離に伴い、三条工業高等学校として独立しました。更に、平成16年4月に県立燕工業高等学校と統合し、新潟県立工業高等学校に改称し、県央地域における工業教育の拠点校として役割を担ってきました。

この間、24,000有余名の同窓生が、地元はもとより、県内外の各界、各分野で活躍され、社会の進展に寄与されておりますことは、誠に喜ばしいことであります。

当校が長きにわたり、地域の産業教育の拠点として、多くの有為な人材を輩出してこられたことは、歴代の校長先生をはじめとする教職員の皆様が、生徒に対して厳しくも温かい教育を実践して来られた証しであり、あわせて、保護者、同窓会並びに地域の方々の献身的な御支援、御協力の賜物にほかなりません。ここに改めて、関係各位の御尽力に対して、敬意と感謝の意を表する次第であります。

現在、私たちを取り巻く社会は、急速な科学技術の発展や情報化・国際化の進展の中にあり、経済、環境等各分野で起きる様々な問題は、一国にとどまらず、世界的規模で人々の生活に影響を及ぼしております。このような社会においては、自ら課題を見つけ、主体的に行動する人材の育成が必要であり、新潟県教育委員会では、「個を伸ばす教育」をキャッチフレーズに、基礎的な知識や技能を習得させ、生徒一人一人を尊重し、個性や能力を伸ばす教育を推進し、時代の要請に応える人材の育成に取り組んでいるところであります。

さて、生徒の皆さんは、先輩が百年という長きにわたり築いてこられた当校の伝統を受け継ぎ、発展させるという使命を担っています。校歌の一節に「宇宙を創る情熱と平和を咲かすわれらが母校」とあるように、激しく変化する時代にあっても情熱と志を高く持ち、広い視野のもと、新しいことにチャレンジし、心豊かな人に成長されますことを願っております。

終わりに、この創立百周年を契機に、同窓生や保護者、そして地域の皆様が一体となって、県立新潟県立工業高等学校の新しい歴史を築きあげ、一層の発展を遂げられますよう祈念いたしまして、お祝いいたします。

創立100周年によせて



三條市長
國定 勇人

新潟県立新潟県央工業高等学校創立100周年を迎え、心からお祝いを申し上げます。

貴校は、明治44年に郡立三条商工学校として開校し、大正11年の県立移管にて新潟県立三条商工学校と改称、その後昭和37年の商・工分離により新潟県立三条工業高等学校と改称した後、平成16年に新潟県立燕工業高等学校と統合し、現在に至っております。

貴校は、まさに当三条市の伝統であるものづくりのスペシャリストを多く輩出し、地場産業発展に大きく寄与してこられました。また、地元企業との密接な連携の中で、地元経済界の発展を支える人材、さらに県内外で活躍する優秀な人材を輩出していることに、地元市長として誠に喜ばしく感じるとともに、厚く御礼申し上げる次第でございます。

三条市でのこの10年を振り返ってみても、市町村合併や災害など、大きな課題を乗り越えてまいりました。貴校の創立当時の100年前からの変遷を見れば、明治・大正・昭和・平成と、激動の歴史の渦中において、幾多の困難・試練を学校関係者、在校生・卒業生、そのご父母の善意と努力により乗り越えてこられたことと思います。その結果としての今日の発展に対して、改めて敬意を表す次第でございます。

また貴校は、学業だけでなく部活動も大変盛んであり、10年以上も連続してインターハイに出場されている運動部やものづくりで優れた成果を発揮している文化部など、多岐にわたる優秀な部を多く有しています。さらに、平成20年度には野球部が甲子園への出場を果たすなど本当に活気のある学校であると感じております。その活気が地元産業、経済・文化のさらなる発展に大きく貢献されるものと期待しております。

これまでの100年で科学、文化は劇的な変化をとげてまいりましたが、これからの100年でもさらに私たちの想像を超える変化を見せるものと思います。そうした中でも新潟県立工業高等学校の伝統と歴史が脈々と引き継がれていくものと思っております。

最後になりますが、これまで各界で活躍される多くの人材を育成されてきた歴代の校長先生及び諸先生方、常日ごろから後輩の育成にご尽力いただきました諸先輩の方々、地域の方々へ深く敬意を表しますとともに、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます、100周年記念誌発行に当たってのお祝いの言葉とさせていただきます。

1911

三条商工学校開校

三条商工学校・三条工業学校

1944

三条工業学校と改称

1948

三条実業高等学校と改称

三条実業高校

三条実業定時制

三条実業燕分校

1962

燕工業高等学校開校

燕工業定時制

燕工業高校

1963

三条工業高等学校開校

三条工業定時制

三条工業高校

2004

新潟県立工業高等学校として統合

県立工業高校

百年の系譜

新潟県立新潟県立工業高等学校

1911年

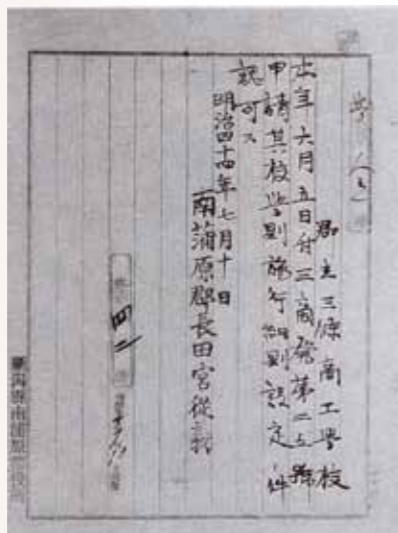
明治44年

4月
大逆事件被告に死刑判決
第三次日英同盟協約調印
アムゼン南極点到達

4月15日
郡立三条商工学校開校

8月5日
三条町一ノ木戸に新校舎完成

11月15日
校舎落成式挙行



明治43年11月商工学校校則編成
明治44年に細則が認可されました。

三条町立三条尋常高等小学校内に設置。金工科、染色科、商業科各1学級。
記録によると明治42年11月に南蒲原郡の有志が本校設置の件を通常郡会に
委任しました。明治43年6月臨時郡会に提案、全会一致で可決。明治44年4月15日
開校となっている。開校時は、生徒数58名、旧三条小学校の一部を借りて校舎に
あてられた。

1912年

大正元年

10月
修学旅行実施



三条商工学校
親しい仲間と卒業記念(大正3年)

1913年

大正2年

4月15日
校友会設置



三条商工学校
親しい仲間と卒業記念(大正3年)

1914年

大正3年

7月 第一次世界大戦勃発

3月21日
第1回卒業式

7月10日
東京大正博覧会に生徒作品出品

11月9日
展覧会売店を設ける



三条商工学校
第1回卒業記念(大正3年)

1915年

大正4年

11月22日
御大典記念商工展覧会を開く



三条商工学校
第2回卒業記念(大正4年)

1916年

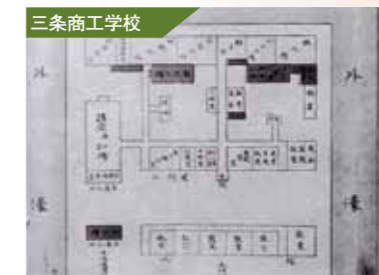
大正5年

1月30日
染色科増築工事

8月15日
第1回同窓会開催



三条商工学校
第3回卒業記念(大正5年)



三条商工学校
校舎平面図(大正5年)

1917年

大正6年

4月12日
各科入学志願者選抜試験実施
各科入学志願者選抜試験が行われ、
高倍率となった。

8月15日
第2回同窓会開催



同窓会旗(大正5年)



三条商工学校
第4回卒業記念(大正6年)

1918年

大正7年

4月21日
金工科実習場に汽罐及び汽機を設置
金工科の汽罐、汽機が設置され、生徒は自発的に
グラウンド整備をするなど、学校は新興の意気に燃え
ていた。



三条商工学校
第5回卒業記念(大正7年)



旧師をかこむ金工科5回卒業生

1919年

大正8年
6月 ベルサイユ条約締結



金工科仕上実習(大正8年)



金工科鍛工実習(大正8年)



東京同級生会合(大正12年)

1920年

大正9年
1月 国際連盟成立

1月
校旗樹立式



第6回卒業記念(大正8年)



第7回卒業記念(大正9年)

1921年

大正10年
4月15日
創立10周年記念式典



創立10周年記念式典出席の卒業生(大正10年)

1922年

大正11年
1月 国際連盟成立

4月1日
県立に移管、
新潟県立三条商工学校と
改称
校舎敷地を1580坪拡大。



笹川流れへ遠足(大正11年)



20マイルマラソン大会(大正11年)

1923年

大正12年
9月 関東大震災

9月
第1回県下中等学校陸上大会1位

1924年

大正13年

4月1日
学校制服を袴から洋服に改める

9月
第2回県下中等学校陸上大会1位

1925年

大正14年

3月 普通選挙法が成立

4月 弥彦線北三条駅が開業

9月
第3回県下中等学校陸上大会1位



陸上競技部(大正13年9月第2回県下中等学校陸上大会1位)

1926年

大正15年

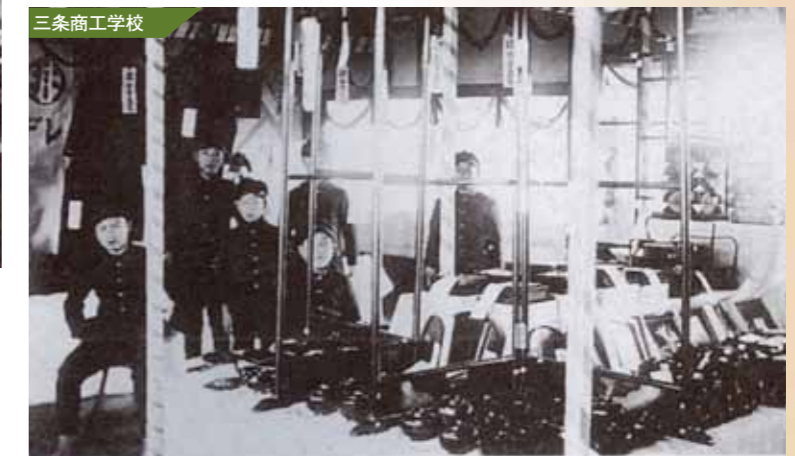
4月15日

創立15周年記念式典



創立15周年記念展覧会(大正15年)

11月6日に記念展覧会を開催。
東別院の報恩講と金山講の祭礼の休日に実習作品が
販売され、大変な人気だった。



創立15周年記念展覧会実習作品販売(大正15年)

1927年

昭和2年

10月 一ノ木戸駅を東三条駅と改称



職員(昭和2年)



修学旅行(昭和9年)

1934年

昭和9年

1月 三条市政施行(全国で123番目)

1928年

昭和3年

3月31日 染色科廃止

4月1日 金工科、商業科2学級募集

同窓会誌「商工の友」(昭和2・5・10年)



第12・15・20号



修学旅行(昭和10年)

1935年

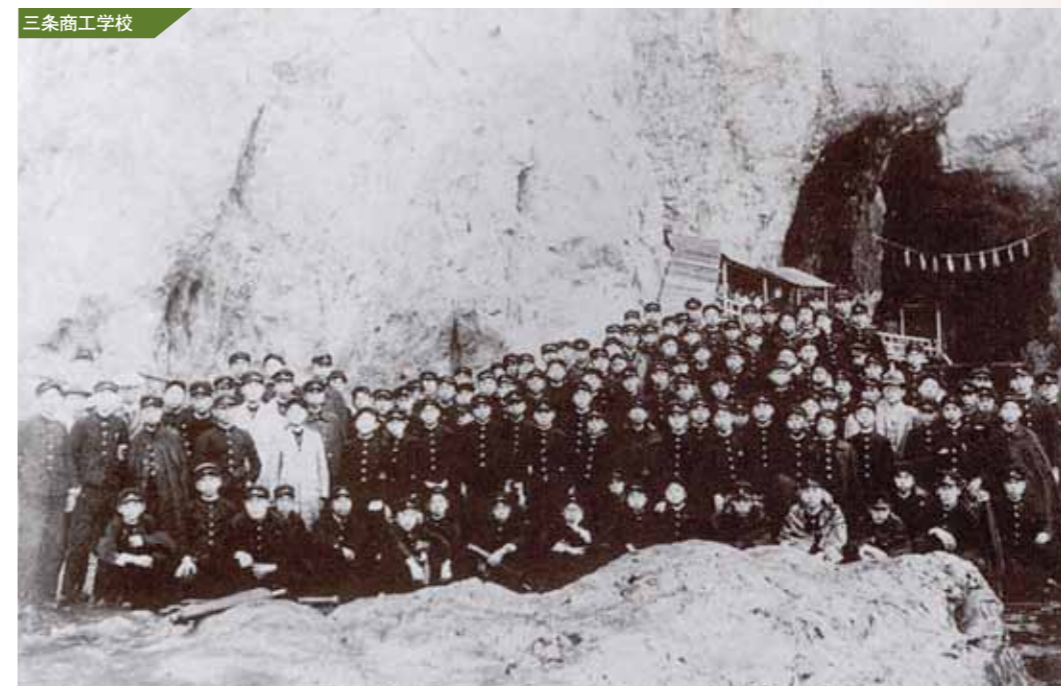
昭和10年

9月 第1回芥川賞・直木賞決定

1929年

昭和4年

10月 世界経済恐慌はじまる



修学旅行10泊11日(昭和10年)

1936年

昭和11年

2月 2・26事件おこる

4月15日 創立25周年記念式典

1930年

昭和5年



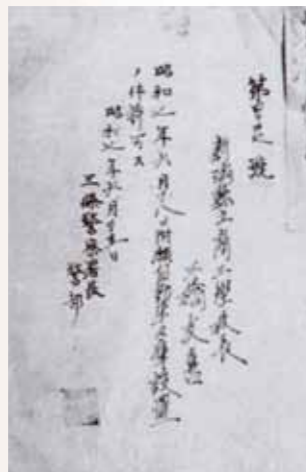
修学旅行(昭和5鎌倉)

1931年

昭和6年

9月 満州事変はじまる

10月10日 創立20周年記念式典



自動車車庫設置認可(昭和7年)

1932年

昭和7年

5月 5・15事件おこる



修学旅行(昭和11年)



修学旅行(昭和12年)

1937年

昭和12年

7月 日華事件おこる

9月 防空演習はじまる

1939年

昭和14年

4月1日
第1本科機械科
(5年生)新設



第26回卒業記念(昭和14年)



陸上競技の練習(昭和14年)

1940年

昭和15年

4月1日
第3本科機械科
(高2卒・2年制)新設



第27回卒業記念(昭和15年)



昭和15年頃の校舎風景



教科書(昭和16年)

教科書(昭和15年)

太平洋戦争前年(昭和15年)

1941年

昭和16年

12月 太平洋戦争おこる

4月15日
創立30周年記念式典



職員(昭和16年)



配属教官と生徒(昭和16年)

1942年

昭和17年

6月 関門トンネル竣工

4月
校内灯火管制防空幕設置



勤労国家隊(昭和17年)



軍事教練の成果を判定する観閲式(昭和17年)

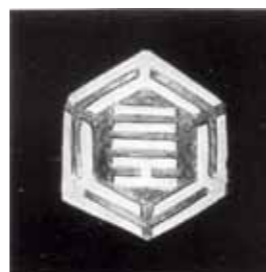
校報(昭和17年・18年)



工事中の新校舎(昭和18年)



ひととき集まってカメラにおさまる(昭和18年)



第1本科機械科4学級募集、第1本科商業科を機械科に編入。
校章は校内募集により内山昭二(昭和20年卒)の作品が採用された。



工業学校卒業記念(昭和19年)



工業学校職員(昭和20年)



生徒勤労働員記念(昭和20年)



三条名物たこ合戦に戦後復興の意気をもって参加(昭和21年)



工業学校卒業記念(昭和21年)

1943年

昭和18年

12月23日
第1本科機械科卒業式

戦時下、灯火管制防空幕設置、生徒勤労報国隊出発、大東亜戦争1周年三条市連合演習、青少年学徒耐寒雪中行軍など多くのことがあり、「本を捨て銃を取り」という時代で、卒業まで繰り上げることになった。

1944年

昭和19年

6月 昭和新山誕生

4月1日

戦時措置により、
新潟県立三条工業学校と改称

11月7日

校舎が三条市田島に移転

激動の中でも新校舎の建設はすすめられ、学校に残っている生徒は空腹を我慢しながら敷地整備をし、新校舎が完成した。

1945年

昭和20年

8月 長岡市大空襲

8月 広島・長崎に原爆投下
敗戦

1946年

昭和21年

11月 日本国憲法公布

1947年

昭和22年

3月
教育基本法・学校教育法公布
義務教育9年制・男女共学

4月1日

学制改革により併設中学新設

1948年

昭和23年

4月1日
学制改革により新潟県立
三条実業高等学校と改称

6月1日
定時制課程(機械科2学級)を新設



当時の校舎(昭和23年)



機械科 商業科を設置。
校章は懸賞募集をして集まった生徒作品
の中から決定。

1949年

昭和24年



自動車クラブは機械科の原動機実習の一環として活躍
(昭和24年)

1950年

昭和25年

6月 朝鮮戦争勃発



校舎北側から撮影(昭和25年)



戦後第1回の修学旅行(昭和24年)



校舎西側から撮影(昭和25年)



気象観測器百葉箱(昭和25年)



昭栄通り(昭和25年)

1951年

昭和26年

9月 サンフランシスコ講和条約



三条実業高校校舎風景



陸上競技クラブ(昭和26年)



定時制第1回卒業記念



定時制第1回生の修学旅行



定時制燕分校職員(昭和27年)



グラウンドから校舎を眺めると第4校舎や体育館はまだない(昭和28年)



山岳部(昭和30年)



後のジャイアント馬場が読売巨人軍に入団。機械科2年2組で記念写真。中央・石黒先生の右側。

1952年

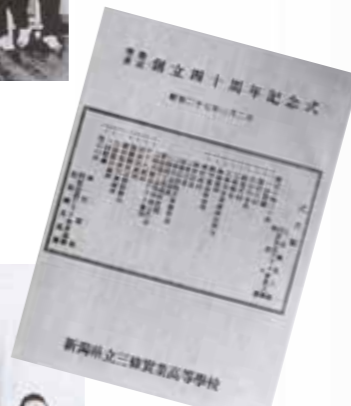
昭和27年

3月2日
校舎増築・創立40周年記念式典

4月1日
定時制燕分校を巻農より移管



戦後の復興発展の流れの中で三条では第1回
金物祭が開催された(昭和27年)



校舎増改築・創立40周年
記念式次第(昭和27年)

1953年

昭和28年

2月 テレビ本放送を開始

1954年

昭和29年

3月 燕町と近隣町村が
合併して燕市となる

馬場正平、読売巨人軍に入団

1955年

昭和30年

4月
校歌制定
作詞 中野二三郎 作曲 波多野修



グラインダーの授業風景(昭和30年)

1956年

昭和31年



職員室(昭和31年)



第1回三燕高校弁論大会に優勝した定時制燕分校

1957年

昭和32年

1月 南極観測隊南極大陸に上陸

5月 全国大会県予選会
バレーボール部が優勝

10月10日
定時制10周年記念式典
県下、各定時制高校で盛大な
行事が行われ、10年の成果を
かみしめた。



定時制発足10周年記念式典(昭和33年)



北陸4県定時制体育大会柔道優勝

1958年

昭和33年

第1回全国計算尺大会



第1回全国計算尺大会(昭和33年)



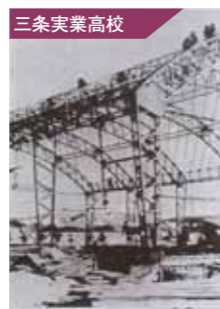
校舎全景(昭和34年)

1959年

昭和34年



当時大人気の自動車部(昭和34年)



体育館建設風景



盛大に開催された文化祭

1960年

昭和35年

4月1日
定時制燕分校に商業課程新設

10月15日
創立50周年記念式典



創立50周年記念絵はがき
(昭和35年)



創立50周年記念式典(昭和35年)

燕工業高校開校まで

1952年(昭和27年4月1日)
巻農業高等学校燕分校(定時制)より三条
実業高等学校に所属変換

昭和23年6月巻農業高等学校燕分校(定時制)が燕東小学校
小高分教所に普通課程1学級を募集して開校。昭和25年4月
燕中学校校舎に移転。そして三条実業高等学校へ所属変換
となる。

1953年(昭和28年5月)
燕町教育委員会白書発表

設立までの経緯

昭和28年5月に燕町教育委員会白書において燕町に高等
学校設置の必要性を発表し世論を喚起した。同29年3月、近隣
町村合併に際し、高等学校設置が町村合併の条件となり、
高等学校設置の機運が愈々高まった。昭和33年8月、高等学校
設置促進研究会が誕生。同34年7月23日、高等学校設置
請願書が県議会において採択され、同年7月27日、燕市議会
で高等学校設置特別委員が選任された。かくして10有余年
にわたる燕市を中核とした近隣町村の高等学校設置の燃ゆる
運動が生徒急増期に対処するための高等学校増設増募の
時勢に幸いされ、本校設立の実を結ぶに至った。昭和35年
8月、高等学校設置請願書の内容を普通課程から工業課程
に変更方上申書を、県知事、県議会議長、県教育委員長に
提出し、同年9月、県立燕工業高等学校設置期成同盟会が
誕生した。

1957年(昭和32年1月4日)
普通課程1学級増募

1960年(昭和35年4月1日)
商業課程1学級新設

1962年(昭和37年1月1日)
燕工業高等学校設立告示



英語部(昭和36年)



三条実業高校燕分校・燕工業高校仮校舎風景



燕工業高校開校式(昭和37年)



燕工第一回入学式(昭和37年)

燕工業高校開校

三条実業高等学校定時制燕分校を
燕工業高等学校に移管して、旧・燕中
学校校舎を燕市より借用して開校。定
時制商業科募集停止。全日制機械科
2学級・電気科2学級 定時制機械科
2学級・普通科1学級。



燕工 開校記念マラソン(昭和37年)



燕工新校舎起工式(昭和37年)

1961年

昭和36年

5月
全国大会県予選会
卓球部が優勝

1962年

昭和37年

1月1日

燕工業高等学校設立告示

3月31日

定時制燕分校を燕工業高等学校に移管

4月1日

燕工業高等学校開校

4月9日

第1回入学式

同日、全日制PTA、定時制PTA発足。

5月20日

燕工業高等学校開校式

この日を創立記念日とする。

5月21日

開校記念マラソン大会

6月1日

定時制発足記念マラソン大会

以降、毎年6月1日に実施。

6月

三条工業高校第1期工事予算議決

6月県議会で本館第1期工事予算が
議決される(5365万円)。

6月

全国大会県予選会弓道部が優勝

9月

県高校総体バレーボール部が優勝
卓球部が優勝

10月10日

本館(第1棟)のうち第1期工事竣工

11月1日

新潟県立三条工業高等学校設立告示

工分離の趣旨により、新潟県立三条工業高等学校
設立を告示される。起工式、地鎮祭。

1963年

昭和38年

1月24日 三八豪雪

38豪雪のため授業を打ち切り

24日から28日まで授業を打ち切って除雪作業をおこなう。

2月6日

39豪雪、除雪作業

6日、7日と燕市の豪雪対策に協力して堤防上の除雪作業をおこなう。

2月8日

三条工業高校38年度入学生募集

全日制機械科3学級、化学工学科2学級

3月14日

校旗樹立、校歌制定式

定時制第1回卒業証書授与式

4月1日

全日制機械科3学級に学級増

三条工業高等学校開校

三条工業高等学校の普通教室5、教務室として教室1、校長室兼事務室として小室2を借用。教諭定員18名でスタート。

4月11日

第1回入学式

機械科3学級(139名)、化学工学科2学級(93名)計232名入学許可。

4月20日

本館(第一棟)増築竣工

4月21日

校舎移転 新築になった校舎に移転する。燕市東太田1066

5月4日

実習工場(第三棟)竣工 変電室・倉庫・渡り廊下が竣工。

5月

PTA発足

6月

全国大会県予選会

三条工業高校バレーボール部が優勝

三条工業高校ソフトテニス部が優勝

三条工業高校弓道部が優勝

7月20日

生徒会発足

7月24日

後援会発会式

目的:本校の施設・設備の充実並びに環境整備。

8月27日

本館(第1棟2期分)竣工

普通教室、特別教室、玄関が竣工。

9月

県高校総体三条工業高校弓道部が優勝

9月9日

本館第1期工事(玄関より東半分)竣工

10月7日

第1回修学旅行関西方面実施

10月8日

応援歌制定

第1応援歌 作詞:長谷川洋志(定4年)作曲:佐藤秀雄(燕地区指導主事)

第2応援歌 作詞:樋口優(電2)作曲:小杉誠治(大湊中学校長)

10月10日

新校舎に移転。本日を開校記念日と定める

10月21日

新校舎披露式 三条市長ほか約100名の市内知名士を招いて新校舎への移転を披露。



燕工業高校校旗入場(昭和38年)



燕工業高校定時制第1回卒業式。燕市立燕東小学校体育館で実施。(昭和38年)



新潟県立燕工業高等学校校章

校歌 作詞:宮村二 作曲:小松清

校章 寺島辰治(県教育庁指導主事)

校章の由来

三角形は知識・心情・意欲を、外側の弧は豊かな人間性を表し、三つの矢は燕と工業のTの図案化である。全体として、発展する工業界を推進する知識、技術を積極的に学びとるという覚悟の結果を表したものである。



新潟県立三条工業高等学校校章

校章の由来

形は正三角形で、中の三本ずつの線は三条市のマークの三本の円を三つに分け、それを直線であらわした。この三本の線は、秩序・強調・団結の三つの意味をあらわし、この三本の集合体である正三角形は最も安定した形を示している。若いエンジニアの理想を示している。

三条工業高校の校舎の建設

本館第一期工事の竣工期限は8月下旬であったが、豪雪のため工事中止等があり、帳簿上は9月9日竣工になっているが検査の行われたのは9月29日。工事の手直しのため、その後しばらく使用不能であった。移転当時は給水工事はまだ完了せず、2、3階の便所は使用禁止。校舎使用区分は次の通り普通教室8のうち教室として5、化工実験室、教務室、倉庫に各1教室をあてる。会議室は体育及び生徒集会用。保健室を二分して校長室と事務室にあてる。



三条工業高等学校第1回入学式(昭和38年三条工業実業高校で実施)



移転披露宴(昭和38年)



新潟国体弓道会場になる(昭和39年)



スクラッチ優勝(昭和39年)



新潟国体選手団(昭和39年)



国旗入場(昭和39年)



自転車競技の部優勝(昭和39年)



9月建設中の校舎(昭和39年)



新潟国体弓道開会式(昭和39年)



第一回体育祭(昭和39年)



定時制施設充実のために夜間照明が設置され記念運動会が開催される(昭和39年)

1964年

昭和39年

3月31日

特別教室(第二棟)竣工

特別教室、渡り廊下が竣工。

本館第2期工事(西半分)、講堂竣工

4月1日

全日制機械科4学級に学級増

4月8日

化学工学科実習棟竣工

6月

**全国大会県予選会
三条工業実業高校弓道部が優勝**

6月4日

**国民体育大会新潟大会
400m速度競争優勝(丸山清人)**

**国民体育大会新潟大会
自転車スクラッチ優勝(小林利夫)
団体追抜優勝(小林利夫・塚田寛)**

6月16日

新潟地震本校被害なし

6月26日

校門前の橋に「高仰橋」と命名

9月

**県高校総体
三条工業実業高校ソフトテニス部が優勝**

9月

ポプラ植樹

ポプラの苗木200本を長岡の東亜マツチより貰い受け、校地内に植樹した。当時はメタル用原料などが不足しており、20年後に育った木を売れば創立20周年事業の費用にあてられるとの目算であった。しかし売れるほどに育ったのは5・6本で、20周年時に売却したら諸費用を引いて残ったのが1500円。校庭に現在あるポプラはその残党である。

県高校総体自転車競技部が優勝

10月 東京オリンピック開催

10月9日

第1回全日制体育祭

11月3日

第1回文化祭

3日、4日と本校最初の文化祭実施。

1968年

昭和43年

6月29日
校舎正面道路舗装工事完了

9月
全国定時制通通信制大会
陸上競技走り高跳び優勝(土井好己)

北信越定時制通通信制大会バドミントン優勝
伝統の定時制バドミントン部は4連覇を果たす。

10月 メキシコ五輪(朝日新聞10/14)

10月10日
第6回創立記念日
3年毎に文化祭的行事を持つこととし、学校公開・記念講演会を行う。

11月
校地内緑化の第1期工事
校門附近に植樹を行う。正面玄関附近は同窓会からの寄贈による。

12月15日
原動機実習棟竣工



三條工業高校

書初 化工科職員(昭和43年)



バドミントン 四連覇(昭和43年)



軟式庭球ダブルス優勝(昭和45年)



ウエイトリフティング部道場(昭和43年)



初代校長 目黒治夫先生離任(昭和44年)



燕工業定時制夜間照明完成(昭和45年)



燕工業定時制



勤労と勉学(昭和45年)

1969年

昭和44年

5月4日
前庭に植樹
全日制PTAより寄贈の松の木3本を植樹。

7月 アポロ11号月面着陸

1970年

昭和45年

3月 日本万国博覧会開催
3月31日
体育館竣工

3月25日
体育館、夜間照明施設竣工

4月1日
宿直廃止
警備保障会社が校内警備にあたる。日直は代行員が行うことになった。

6月
県高校総体剣道部が優勝

6月12日
音楽室竣工

6月12日
県高校総体ウエイトリフティング部が優勝
軟式庭球部がダブルス優勝

10月27日
体育館開き開催
駅伝、籠球、サッカーを行い、全校に名人鉛筆2本を贈る。体育祭盃制定。全日制・定時制ともトロフィー1、カップ1、楯1。



校章が一棟正面に完成(昭和46年)



古沢君



十年の歩み(昭和46年)



三條工業高校

前庭舗装、中庭造園、記念誌発行、同窓会会員名簿発行。26日に式典を体育館で実施。祝賀会は厚生福祉会館で行った。学校公開を27日・28日に行い、その中で記念講演会を東大工学部で宇井純氏を講師に「公害の本質」の演題で実施した。また、生徒会発表もあり。



三條商工60周年・三條工業10周年式典(昭和47年)

1971年

昭和46年
6月 沖縄返還協定調印式

6月
県高校総体ウエイトリフティング部が優勝

11月1日
創立10周年記念式典
「十ヶ年の歩み」発行。

11月23日
後援会解散

後援会は目的である学校の施設設備の充実が一応達成されたということで解散された。

12月7日
制帽自由化
全日制の生徒の要望により制帽の着帽は自由となる。

1972年

昭和47年
2月 札幌冬季オリンピック開催



栄光の数々、重量挙げ部と育ての親・中村先生(昭和47年)

1973年

昭和48年
2月 変動相場制へ移行

6月
県高校総体剣道部が優勝

6月26日
庭球コート移設

市道新設に伴うグラウンドの一部を三條市へ譲渡。処分代替地として庭球コート(三面)、三條市より移換される。(現在の全天候屋外スポーツ練習場用地)

8月3日
プール新設

10月 石油ショック

10月26日~28日
三條商工60周年・三條工業10周年記念式典
学校公開

11月14日
超小型電子計算機設置

11月29日
SPアラームシステム導入

1974年

昭和49年

- 1月9日
アラーム警備に
- 6月
県高校総体ウエイトリフティング部が優勝
- 7月
アポロ11号月面着陸
- 8月
全国高校総体ウエイトリフティング優勝(小林寛)
- 10月
国民体育大会ウエイトリフティング優勝(小林寛・目黒正男・日本高校新記録)
- 12月12日
プール竣工

1975年

昭和50年

- 4月1日
定時制機械科1学級減
- 燕工業高等学校小中川分校を開校
燕市に普通高校を設置してはいいという機運が高まり、旧小中川小学校を借用して燕工業高等学校小中川分校を開校。全日制普通科2学級。
- 4月9日
小中川分校第1回入学式
- 6月
県高校総体ウエイトリフティング部が優勝
- 6月14日
プール竣工式並びにプール開き
- 10月
国民体育大会ウエイトリフティング優勝(松尾謙資)

1976年

昭和51年

- 4月1日
全日制機械科1学級減
- 6月
県高校総体ウエイトリフティング部が優勝
- 8月
全国高校総体ウエイトリフティング優勝(小嶋栄二)
- 10月
国民体育大会ウエイトリフティング団体優勝(新井克治、堀内喜良、小嶋英二)個人優勝(小嶋栄二)
- 国民体育自転車競技大会スクラッチ優勝(原田則夫)



定時制の授業スナップ(昭和50年)

1977年

昭和52年

- 4月1日
小中川分校独立
- 県高校総体ウエイトリフティング部が優勝
卓球部が優勝
- 6月
11月28日 福田改造内閣発足



定時制、柔道部(昭和52年)



定時制、給食部(昭和52年)



クラス写真(昭和52年)

1978年

昭和53年

- 6月26日 三条市6.26水害
- 6月
県高校総体ウエイトリフティング部が優勝
- 6月26日
梅雨前線豪雨被害発生
校舎が冠水
- 校舎全体が床上浸水。2日間、生徒を総動員して後始末。施設・設備関係被害4,408,600円。
- 9月 北陸自動車道開通
- 11月8日
昭和54年度より定時制普通科募集停止



三工祭(昭和54年)



ロボット(クラス展示)

1979年

昭和54年

- 2月 第2次石油ショック
- 6月
県高校総体ウエイトリフティング部が優勝

1980年

昭和55年

6月
県高校総体ウエイトリフティング部が優勝

10月
国民体育大会ウエイトリフティング優勝
(佐野彰)

12月18日
柔剣道場竣工



学校寄席



機械実習風景



定時制修学旅行



パソコン実習風景



体育祭



電気科実習風景



演劇鑑賞

1981年

昭和56年

1月10日
融雪施設完成

6月
県高校総体ウエイトリフティング部が優勝

8月
全国高校総体自転車競技スクラッチ
レースで小林昭二優勝

1982年

昭和57年

11月 上越新幹線開業

6月
県高校総体ウエイトリフティング部が優勝
県高校総体自転車競技部が優勝

8月
全国高校総体自転車競技スクラッチ
レースで小林昭二優勝

10月
国民体育大会自転車競技大会少年500m
速度競争小林昭二優勝(日本新記録)

小林昭二は2年連続で全国高校総体で優勝を果たし、昭和57年は国体も制覇した。

三條工業高校 創立20周年記念盛大に挙行



20周年記念式典(昭和58年)



野村克也氏講演会(昭和58年)



サッカー部(昭和59年)



バーベキュー



庭球部(昭和59年)



記念事業記事記載の三工新聞(昭和59年)

1983年

昭和58年

4月 東京ディズニーランド開園

6月
県高校総体ウエイトリフティング部が優勝
卓球部が優勝

10月3日 三宅島噴火

10月8日
三條商工70周年
三條工業20周年記念式典

前庭舗装、消雪井戸掘削。同窓会会員名簿発行。
式典・講演会は体育館。講演講師は野村克也。
祝賀会はビップ玉姫殿。

1984年

昭和59年

3月 グリコ・森永事件
3月 第2次中曽根内閣

6月
県高校総体ウエイトリフティング部が優勝

7月28日 ロサンゼルスオリンピック開幕

1985年

昭和60年

3月16日 つくば科学万博開催
4月 日本電信電話会社(NTT)
日本たばこ産業発足

1986年

昭和61年

4月1日 男女雇用均等法施行

4月1日
定時制募集停止

4月26日 ソ連のチェルノブイリ原子力発電所
が炉心溶解事故発生

6月
県高校総体ウエイトリフティング部が優勝
卓球部が優勝

9月27日
管理・普通教室棟改修工事竣工

1987年

昭和62年

4月 国鉄分割民営化

6月

県高校総体卓球部が優勝
山岳部が優勝

8月

全国高校総体登山大会で山岳部が全国優秀校【金メダル受章】(青木一寛、志田篤史、川井正幸、高山光)

9月10日

第3棟大規模改修工事竣工

10月 自民党新総裁、竹下登に決定

三條工業高校



山岳部:インターハイで見事優秀校に(昭和62年)

燕工業高校



体育祭

三條工業高校



1988年

昭和63年

2月 カルガリー冬季オリンピック開催

2月 青函トンネル開業

4月 瀬戸大橋開通

4月

パーソナルコンピューター導入

コンピューター室が設置され、パーソナルコンピューター21台が導入された。

6月1日

三條工業高等学校後援会設立

学校における教育の充実とその振興を図ることを目的として、生徒の保護者を以て設立。

8月 イラン・イラク戦争停戦

8月

全国高校総体ウエイトリフティング優勝(村山和晃)

9月

第1棟大規模改修工事竣工

10月

国民体育大会ウエイトリフティング優勝(村山和晃)

10月23日

定時制閉課程記念式典

式典・懇親会の挙行、記念碑の建立、記念誌の発行を行った。

10月 ソウルオリンピック開催

11月15日

定時制卒業記念植樹

定時制最終卒業予定者が記念碑周辺に五葉松とモミジ各1本を植樹。

三條工業高校



定時制閉課程記念式典(昭和63年)

三條工業定時制



定時制閉課程記念碑建立(昭和63年)

三條工業高校



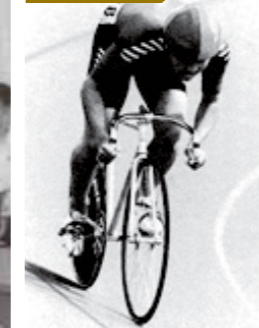
書道部:全国大会出場(平成元年)

三條工業高校



パソコン部(平成元年)

燕工業高校



自転車部

燕工業高校



夜間運動会(平成元年)

燕工業高校



定時制卒業式(平成元年)

燕工業高校



校舎

燕工業高校



修学旅行

1989年

平成元年

7月 昭和天皇崩御。元号は「平成」に

1月 アメリカ大統領にブッシュが就任

2月 金融機関の土曜休日が始まる

3月2日

定時制第27回卒業式

3月31日

定時制課程閉課

4月1日

電子機械科新設

機械科4学級のうち2学級を電子機械科にした。(機械科2学級、電子機械科2学級、化学工学科2学級)

進路指導室設置

定時制教務室を進路指導室に転用。

4月 消費税3%導入

6月

県高校総体卓球部が優勝

6月6日

後援会設立

教育の向上に資することを目的として後援会を再び設立。

6月 竹下首相、宇野内閣が発足

8月

書道部全国大会出場

8月 宇野首相辞任、海部内閣が発足

9月

国民体育大会ウエイトリフティング優勝(諸橋弘樹)

9月20日

第二棟特別教室大規模改修工事竣工

11月 ベルリンの壁が28年ぶり消滅

11月13日

CADシステム導入

製図室の一室をCAD室に転用。

1990年

平成2年

3月 ソ連、ゴルバチョフが初代大統領に

4月 国際花と緑の博覧会大阪にて開催

5月5日

後援会よりパソコン等寄贈

機械制御教育用備品として寄贈される。

5月13日

三條工業高校同窓会関東支部設立

6月 礼宮様と紀子様が御結婚

10月 東西ドイツ統一

12月20日

第一・二棟大規模改修工事竣工

1991年

平成3年

2月 雲仙・普賢岳が噴火

3月1日

関東支部(現・東京支部)会報創刊号発行

関東支部会報創刊号に馬場正平(ジャイアント馬場)が「お祝いの言葉」と写真を寄稿。

3月25日

定時制職員室新設工事竣工

6月

県高校総体山岳部が優勝
ハンドボール部が優勝

7月 ソ連ロシア共和国に

11月2日

創立30周年記念式典
記念講演は田中真澄氏

12月

講堂改修工事竣工

1992年

平成4年

2月 仏アルペールビル冬季五輪開催

6月

第四棟実習棟改築第一期工事
家庭科教室が新設された。

テニスコート改修工事

県高校総体ハンドボール部が優勝

7月 バルセロナオリンピック開催

9月 国公立小・中・高校第2土曜日休校



関東支部ができたこと聞き、本当に喜んでおります。同窓生の皆さまにはいろいろとご声援を頂きながら、ご無沙汰をいたして申し訳なく思っております。皆さま方には様々な分野にご活躍のこと聞き、私の人生に大きな励みになっております。これからも郷里、同窓を大切に誇りに思い、今後も一層精進して参りたいと思います。全日本プロレス馬場正平(ジャイアント馬場)

三条工業高校



インターハイ出場を果たしたハンドボール部(平成3年)



燕工業高校



燕工業高校

記念講演(平成3年)

分校主任、定時制主事、教頭と勤められた故・西方清七先生。30周年記念式典で。(平成3年)

燕工業高校



燕高校記念碑(平成3年)

校歌の一節「師あり友ありがざばん」の記念碑を校庭に建立。

三条工業高校



新4棟家庭科室(平成4年)

三条工業高校



新4棟機械実習室(平成4年)

三条工業高校



新4棟全景(平成4年)

1993年

平成5年

1月 米大統領にクリントン就任

3月 中国国家主席に江沢民就任

3月22日

第四棟実習棟改築工事竣工

4月1日

全日機械科2クラスを機械システム科に転科

6月

県高校総体山岳部が優勝

6月29日

講堂改修工事竣工

6月 皇太子様・雅子様「結婚の儀」

7月 北海道南西沖地震、奥尻島で大惨事

7月 自民党過半数割れ。宮沢首相退陣表明

8月 首相に細川護熙、非自民連立内閣誕生

10月2日

創立80周年記念式典

1994年

平成6年

3月

第四棟実習棟改築第二期工事竣工

3月15日

第三棟実習棟東側改築工事竣工

4月 細川首相辞任。羽田連立新内閣誕生

6月

県高校総体山岳部が優勝
弓道部が優勝

6月 羽田内閣総辞職、社会党の村山富市を首相に4党連立政権発足

11月14日

第二棟大規模改修工事竣工

11月24日

第三棟実習棟西側改築工事竣工

燕工業高校



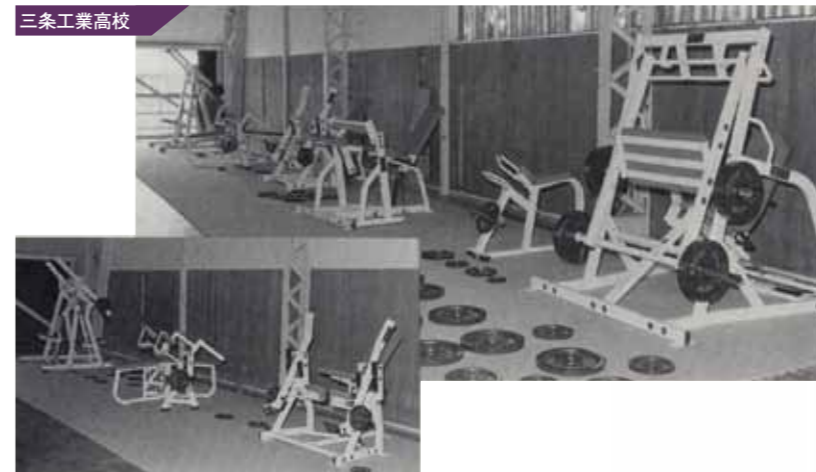
授業風景(平成5年)

商工分離からの積算はやめて創立年数だけに統一して80周年記念事業を行った。記念誌発行。トレーニングマシン、マルチ放送システム、校内LAN、CAD/CAMソフト等を導入。部活基金を創設。同窓会会員名簿発行。式典・講演会は体育館。講師はせんだみつお氏。祝賀会は燕三条ワシントンホテル。



三条工業高校80周年記念誌表紙(平成5年)

三条工業高校



記念事業のレーニングマシン(平成5年)



記念事業のCAD/CAM設備(平成5年)

1995年

平成7年

- 1月 阪神大震災、死者5000人超す
- 3月 地下鉄サリン事件

4月1日
化学工学科1学級減

- 4月 学校週5日制月2回スタート
- 4月 日本産最後のトキ急死

6月
県高校総体山岳部が優勝
ハンドボール部が優勝

10月20日
平成8年度より定時制募集停止

1996年

平成8年

- 1月 村山首相が退陣。自民党、橋本内閣が発足

3月25日
全天候型屋外スポーツ練習場竣工
テニスコート跡地に建設。

4月1日
化学工学科募集停止、建設工学科1学級新設
学級減によって空いた3教室を多目的教室2と進路資料室に転用。

- 5月 台湾の李登輝總統、初代民選總統に就任

6月
県高校総体山岳部が優勝

- 7月 ロシア大統領選挙でエリツィンが再選
- 7月 アトランタオリンピック開催

7月30日
テニスコート大規模改修工事竣工

1997年

平成9年

- 4月 消費税3%から5%に引き上げ

3月27日
第三棟実習棟改築工事竣工

6月
県高校総体山岳部が優勝

- 6月 香港、中国に返還

8月
全国高校総体登山大会山岳部が2位入賞

- 9月 第2次橋本内閣が発足

10月16日
体育館大規模改修工事竣工

10月24日
全日制機械科募集停止

11月25日
体育館改修工事竣工

県内14校14学級減

公立高校
公募集計画

吉田商 加茂農学級減
燕工業定時制は募集停止
三條工業に建設工学科

『建設工学科』要請実る
建築・土木 資格学習も

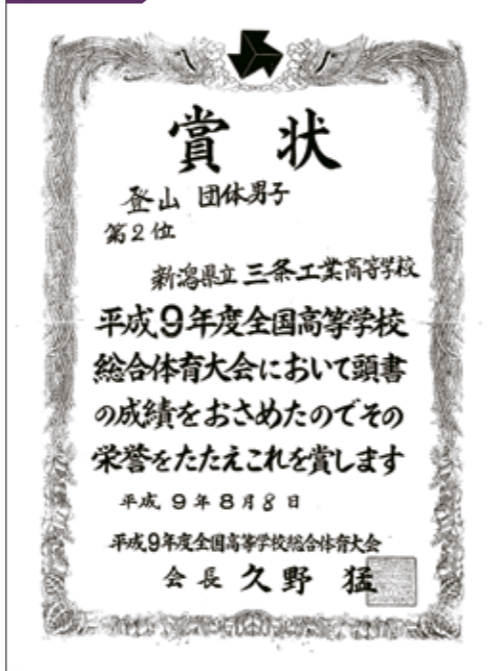
三條工業高校に建設工学科設置の新聞記事(平成8年)

三條工業高校



全天候型屋外スポーツ練習場(平成8年)

三條工業高校



山岳部全国2位賞状(平成9年)



閉課程記念式典(平成10年)

定時制閉課程記念同窓会名簿(平成10年)



三條工業高校



勤学記念碑(平成10年)



閉課程記念式典(平成10年)



閉課程記念碑除幕式(平成10年)



化学工学科記念誌(平成10年)



ジャイアント馬場逝去

関東支部10周年記念式典に出席の内諾を得ていたが、いみじくもその準備会議の当日に逝去された。61歳。

1998年

平成10年

- 2月 長野冬季オリンピック開催
- 2月 金大中氏、韓国大統領に就任

3月31日
化学工学科閉科
化学工学科記念誌発行

6月
県高校総体山岳部が優勝

- 6月 家電リサイクル法制定
- 7月 橋本首相退陣 小淵内閣発足

9月25日
グランド大規模改修工事竣工

- 9月 北朝鮮の国家元首に金正日が再任
- 9月 ドイツ、社会民主党が政権を獲得
- 10月 温暖化対策推進法制定

11月1日
定時制閉課程記念式典
勤学記念碑除幕式

1999年

平成11年

- 1月31日 ジャイアント馬場逝去

3月2日
定時制最終卒業式

4月1日
電気科1学級に学級減

6月
県高校総体山岳部が優勝

6月6日
三條工業高校同窓会関東支部設立
10周年記念式典

10月6日
グランド大規模改修工事竣工

10月27日～28日
第七回新潟県高校生産業教育フェア主管

- 12月 ポルトガル領マカオが中国に返還

- 12月 米はパナマ運河をパナマに返還

2000年

平成12年

- 1月 コンピューターの西暦2000年問題、大過なく終了。
- 1月 改正祝日法「ハッピーマンデー法」施行
- 3月17日 **CAD/CAMシステム更新**
- 3月 ロシア大統領選挙、ウラジミール・プーチン氏が当選
- 3月 北海道・珠山が噴火
- 4月 介護保険制度スタート
- 4月 小淵首相が急死、森内閣発足

6月 県高校総体山岳部が優勝

- 7月 新2千円札発行
- 8月 三宅島噴火 全島民島から非難
- 9月 三宅島で全島非難命令
- 9月 シドニーオリンピック開催
- 10月 鳥取県西部地震
- 12月13日 米大統領選挙、ブッシュが当選



実習風景(平成12年)



実習風景(平成12年)



体育祭(平成12年)



三条工業高校校舎風景

2001年

平成13年

- 1月 村山首相が退陣、自民党、橋本内閣が発足
- 3月26日 **校内LAN整備竣工**
- 4月1日 **機械システム科1学級に学級減**
- 4月1日 家電リサイクル法、情報公開法がスタート
- 4月26日 3党連立による小泉純一郎内閣発足

6月 県高校総体山岳部が優勝 レスリング部が優勝

- 9月 東京ディズニーシーがオープン
- 9月11日 アメリカ同時多発テロ事件

9月21日 第二機械加工実習棟 外部改修工事竣工

- 12月1日 敬宮愛子さまご誕生



授業風景(平成13年)



授業風景(平成13年)

2002年

平成14年

- 1月1日 欧州単一通貨ユーロの流通がスタート
- 2月8日 ソルトレイク冬季オリンピック開催
- 5月31日 FIFAワールドカップ、日本・韓国共同開催で開幕
- 5月1日 イラク戦争終結
- 6月 **県高校総体山岳部が優勝
レスリング部が優勝**
- 10月 小柴昌俊名誉教授ノーベル化学賞受賞
- 10月15日 北朝鮮拉致被害者5人帰国

11月12日 弓道場床張替工事竣工

- 3月15日 中国、国家主席に古錦濤を選出
- 3月20日 米英軍はイラクへの空爆を開始
- 4月1日 日本郵政グループ発足
- 5月1日 イラク戦争終結



燕工業高校校舎風景



創立90周年記念式典(平成15年)

2003年

平成15年

6月 県高校総体山岳部が優勝 レスリング部が優勝

8月 全国高校総体レスリング優勝 (宮路高行)

- 9月24日 民主党が誕生
- 9月26日 十勝沖地震発生

10月4日 創立90周年記念式典

燕工業高校との統合を前にしての記念事業となった。事業テーマは「新たな歴史がまたはじまる」。記念講演はビーター・フランクル氏、記念事業は部活基金の拡充。式典・講演会は体育館。祝賀会は地場産センター。

- 11月19日 第二次小泉内閣が発足

- 12月1日 地上波デジタル放送、三大都市圏の放送開始



三条工業高校レスリング部優勝(平成15年)

2004年

平成16年

2月9日 陸上自衛隊本隊第2陣がイラク・サマワ入り

3月8日

三条工業高校第39回卒業式

三条工業高校での最終卒業生となる。

3月19日

校旗降納・樹立式

3月24日

格技場、音楽室、FMS室大規模改修工事竣工

4月1日

燕工業高校との統合で新潟県立新潟県立工業高等学校と改称

全日制機械システム科・電気科募集停止

新潟県立工業高等学校と統合するため残存していた科すべてが募集停止になった。

4月8日

新潟県立工業高等学校第1回入学式

5月22日 拉致被害者の家族6人が日本へ

6月

**県高校総体山岳部が優勝
レスリング部が優勝**

6月4日 年金改革法成立

7月2日

同窓会総会で「新潟県立工業高等学校同窓会」と改称

同窓会総会で会則を改正して「新潟県立工業高等学校同窓会」と改称し、新たに常任委員会を設置。

新潟・福島豪雨災害(7.13水害)

7月13日

新潟・福島豪雨災害

管理棟床上1.2m、実習棟床上1mの浸水。全校の1階は壊滅的な被害を受け、国・県による復旧に加えて同窓会からも緊急特別援助を行う。

8月14日 アテネオリンピック開催

10月 新潟県中越地震発生

10月23日

新潟県中越地震発生

幸い物的被害は免れた。

11月3日 アメリカ大統領選でブッシュが再選

11月22日

第2棟東側耐震改修工事

12月26日 スマトラ沖地震発生



三条工業高校の校旗を降納、新潟県立工業高校の校旗を樹立。
校歌:作詞・藤沢周(作家)作曲・清水研作(新潟大学教授)
校章:佐藤則雄(昭和42年卒)

校章の由来

校章の図形は三つの図形で構成されている。一つは、漢字の「人」のような図形であり、これは信濃川と五十嵐川が合流する県央の地形を表している。一つは、外側の三角形であり、前身である燕工業高校の校章の図形である。その三角形と円弧は、知識、心情、意欲と豊かな人間性を表し、技能を積極的に学びとるという覚悟の結果を示している。

一つは、内側の三角形であり、前身である三条工業高校の校章の図形である。その三角形と三本の線は、安定と秩序、協調、団結を表し、若いエンジニアの理想を示している。これらの三つの図形を合成した形は、人が真中に立っている状態を記号化した象形文字の「央」を表し、前身である二つの学校が目指した理想と伝統を引き継ぎ、発展させていくという覚悟を示している。



三条工業・新潟県立工業高校旗降納・樹立式(平成16年)

工業科5学級200名を一括募集し、2年次から加工技術、材料技術、メカトロニクス、情報電子、建築、都市工学の6コースに分かれ、選んだコースで卒業学科が決まる履修形態で、設置学科は機械加工科、電子機械科、情報電子化、建設工学科の4学科。



7.13校門に冷蔵庫が(平成16年)



第一回卒業式(平成17年)



第一回卒業式 看板(平成17年)



春季北信越県大会準優勝(平成17年)



自転車競技優勝「記念絵葉書」(平成17年)



自転車競技優勝(平成17年)



燕工業高校閉校記念式典(平成17年)

2005年

平成17年

2月20日 福岡西方沖地震発生

3月7日

新潟県立工業高等学校第1回卒業式

平成14年4月に三条工業高校に入学した第40回入学生が新潟県立工業高校第1回生となった。

3月25日 愛知万博が開幕

5月 三条市・栄町・下田村が合併、新「三条市」に

6月

野球部 春季北信越県大会で準優勝

**県高校総体山岳部が優勝
レスリング部が優勝**

7月4日

同窓会総会で新潟県立工業高校同窓会との組織統合方針を承認

7月8日

同窓会総会で燕工業高校同窓会との組織統合方針を承認

8月

**全国高校総体自転車競技チームスプリント優勝
(本間龍輝・保科圭太・相場直樹)**

燕工業高校閉校の最終年度での全国優勝は、まさに有終の美を飾るものであった。閉校記念式典の記念品として作成された「記念絵葉書」にレースの様子が描かれている。

8月16日 宮城県南部で地震

9月30日

第2棟西側耐震改修工事

10月20日

体育館外壁修繕工事

10月22日

閉校記念式典

燕工業高校



燕工業高校閉校記念式典・パンフ(平成17年)

県央地域地場産業振興センターを会場にして、199名の出席を得て開催された。

2006年

平成18年

2月10日 トリノ冬季オリンピック開催

3月3日

第42回最終卒業式

機械システム科1学級・電気科1学級、
合計57名の最終卒業生を送り出す。

3月31日

燕工業高校閉校

44年の歴史に幕を閉じ、三条実業高校燕分校453名、
定時制1,928名、全日制7,218名の学籍簿は新潟県央
工業高校に引き継がれる。

4月1日

燕工業高校の学籍簿を引き継ぐ

燕工業高校閉校にもなって燕工業高校関係の
学籍簿を引き継ぐ。



燕工業高校校舎

6月

県高校総体山岳部が優勝
レスリング部が優勝



燕工業高校校舎(平成18年)



燕工業高校校舎(平成18年)

7月8日

燕工業高校同窓会解散総会

7月14日

同窓会統合記念総会

会則を改正し三条実業高校燕分校と燕工業
高校を加え、燕工業高校同窓会を統合。

8月 太陽系惑星から冥王星除外

9月20日 安部晋三新内閣が発足



燕工業高校校舎(平成18年)



燕工業高校校舎(平成18年)

12月11日

第1棟東側、体育館耐震改修補強工事



燕工業高校校舎(平成18年)



燕工業高校校舎(平成18年)



燕工業高校校舎(平成18年)

2006年

平成18年



県央工業高校の校章に入れかえ(平成18年)



校門(平成19年)



新同窓会マークの由来

同窓会マークを作成。三条商工学校以来の校章を同窓会の
「同」の文字でくり、同窓生の融和をイメージしている。中央上
は、100年の伝統を受け継いだ現在の校章。デザインは佐藤則
雄(昭和42年卒)による。



壮行会(平成19年)



入学式(平成19年)



実習風景(平成19年)



実習風景(平成19年)



実習風景(平成19年)



実習風景(平成19年)



実習風景(平成19年)



実習風景(平成19年)

2007年

平成19年

6月 県高校総体レスリング部が優勝

7月16日 新潟県中越沖地震

7月30日 民主党参院第一党に

9月26日 福田康夫首相に就任

10月1日 郵政民営化スタート

10月12日

第1棟西側耐震改修補強工事

県央工業高校



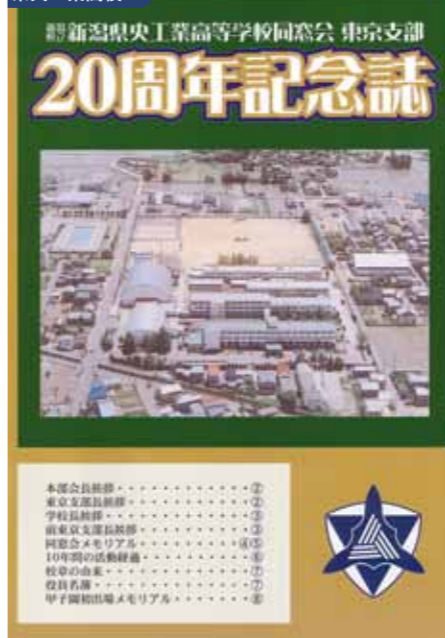
正面玄関前(平成20年)

県央工業高校



新潟大会閉会式(平成20年)

県央工業高校



同窓会東京支部20周年記念誌(平成21年)

2009年

平成21年

1月20日 オバマがアメリカ大統領に就任

2月20日

雨水排水ポンプ増設工事

2月22日

新潟県央工業高校東京支部(旧・関東支部)設立
20周年記念総会

3月23日 第2回ワールドドー・ベースボール・クラシック、日本が連覇

3月25日

グランドナイター照明設備竣工

甲子園に送る会より寄贈されたグランドナイター照明設備が竣工した。

5月15日 家電・住宅エコポイント制度スタート

5月21日 裁判員制度スタート

6月

県高校総体山岳部が優勝

7月 皆既日食26年ぶりに日本で観測

7月1日

「合宿所」竣工
同窓会事務局室を開設

8月31日 太陽光発電買取制度スタート

9月16日 民主党の鳩山由紀夫が首相に。
民主、社民、国民新の4党連立鳩山内閣が発足

2008年

平成20年

6月 県高校総体レスリング部が優勝

7月 北海道洞爺湖サミット開催

7月23日

野球部が県央地区から初の甲子園出場

野球部が三條機械スタジアムでの第90回全国高校野球選手権記念新潟大会決勝戦で初優勝し、県央地区から初の甲子園出場となる。



県央工業高校



甲子園入場行進(平成20年)

県央工業高校



試合終了(平成20年)

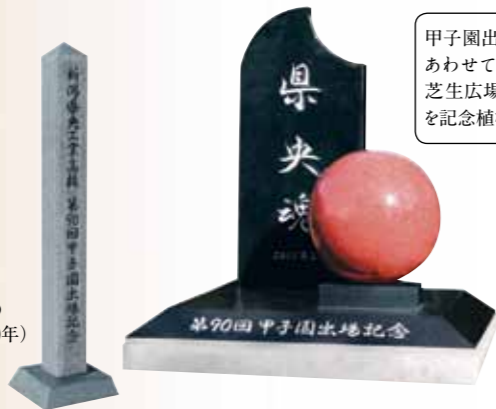
県央工業高校



熱い声援ありがとうございました

第90回全国高校野球選手権記念大会で、三條東高校吹奏楽部の友情応援を含め甲子園一塁側アルプスタンドを埋め尽くした大応援団に応えるべく、地元強豪校の報徳学園と球史に残る名勝負を展開した。

甲子園出場記念碑を前庭に建立。あわせて、三條機械スタジアムの芝生広場に記念碑の建立と桜7本を記念植樹。



三條機械スタジアムに建立の甲子園出場記念碑(平成20年)

学校前庭に建立の「県央魂の碑」(平成20年)

県央工業高校



合宿所共和会館風景(平成21年)

県央工業高校



共和会館看板(平成21年)

篤志家会員の寄付金によって校地内に「合宿所」を竣工し県に寄付。合宿所内に同窓会事務局室を県との協議の上、開設した。合宿所の愛称は「共和会館」。

県央工業高校



野球部北信越大会出場横断幕(平成22年)

2010年

平成22年

2月12日 バンクーバー冬季オリンピック

5月1日 上海国際博覧会(上海万博)

6月

県高校総体山岳部が優勝

6月2日 鳩山首相退陣。菅直人が首相に就任

6月11日 ワールドカップ南アフリカ大会

6月13日 小惑星探査機「はやぶさ」地球帰還

10月1日

同総会ホームページを開設

10月

野球部 秋季北信越大会に出場

チリ北部サンホセ鉱山で落盤事故、全員が無事救出。

2011年

平成23年

3月11日 3.11東日本大震災。巨大津波で福島原発が電源喪失で爆発。

3月11日

東日本大震災
幸い物的な被害は免れた

6月

県高校総体山岳部が優勝レスリング部が優勝

7月29日

7.29水害

校地内が浸水。
部室、倉庫、ウエイトトレーニング場などが浸水被害。

7.29水害 三条嵐南地区・旧下田地区に大きな被害。

8月

5つの部活が全国高校総体に出場
柔道部 男女とも初の北信越大会出場

全国高校総体に山岳部、レスリング部、ウエイトリフティング部、弓道部、卓球部の5つの運動部が出場。本校史上最多の出場成績となる。さらに科学技術部が全国ロボット競技大会に出場する。

8月

レスリング世界カレド大会に出場



三条マルシェに出店の機械工作部(平成23年)



同窓会からの激励会(平成23年)



ロボット大会(平成23年)



柔道北信越大会(平成22年)



卓球部県大会ダブルス優勝(平成23年)

9月

野球部 秋季北信越県大会で準優勝



レスリング県総体団体2年連続10回目の優勝(平成24年)



弓道部2年ぶり団体優勝(平成24年)



山岳部全国優勝(平成24年)

この大会では新潟県全体でも唯一の団体優勝であった。



7月23日新聞記事(平成24年)



2012年

平成24年

6月

県高校総体

○山岳部
○レスリング部
○弓道部
団体優勝で過去最高の優勝数



山岳部2年連続10回目の最優秀校(平成24年)



卓球部ダブルス2年連続優勝(平成24年)

7月

5つの部活と1競技が全国高校総体に出場

全国高校総体に5つの部活と1競技が出場。本校史上最多の出場を更新するとなる。山岳部通算24回目の全国大会へ。レスリング部2年連続10回目の優勝。弓道部2年ぶりの団体優勝。卓球部ダブルス2年連続優勝。水泳部、自転車競技出場。

8月

平成24年度全国高校総体北信越かがやき総体が新潟をメインに開催される

8月

全国高校総体登山大会で山岳部が全国優勝

9月

野球部 秋季北信越県大会で準優勝

2013年

平成25年

3月11日 3.11東日本大震災。
巨大津波で福島原発が電源喪失で爆発。

2月28日

県高体連スポーツ年間最優秀校授賞式

4月

100周年記念にと平成24年度
卒業記念で体育館外壁に校名を表記



創立100周年横断幕(平成25年)

県高体連スポーツ年間最優秀校授賞式(平成25年)



学校として県総体の
成績で最高点というこ
とで、男子の部で初め
の受賞。県立高校の
受賞は16年ぶり。



県中央工業高校登校風景(平成25年)

県中央工業高校

各コースの様子



メカトロニクスコース



加工技術コース



建築コース



材料技術コース



情報電子コース



都市防災コース

各コースの様子



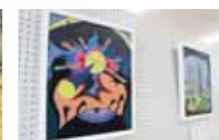
野球部



陸上部



卓球部



美術部



書道部



柔道部



機械工作部



弓道部



剣道部



建設部



山岳部



写真部



科学技術部



音楽部



レスリング部



バレー部



バドミントン部



バスケット部



ソフトテニス部



サッカー部



ウエイトリフティング部

【100周年記念事業 総合トレーニング場建設の記録】

2013年

平成25年

5月11日
総合トレーニング場起工式

7月4日
総合トレーニング場が上棟
上棟祝いの餅まきを実施

7月31日
外観ほぼ完成の総合トレーニング場



100周年記念事業で「総合トレーニング場」を建設する契約を3月29日に締結。これによって、現在のウエイトリフティング場がまもなく解体されることから、その建築に尽力された当時の顧問やOB、それを使って伝統をつないで活躍してきた顧問・OBのが、3月30日に集まって「道場にお別れ会」を実施。現在のウエイトリフティング場は昭和42年、当時の重量挙げとOB会が建築し、県に寄附したもので今年で46年になる。



100周年記念事業の総合トレーニング場建設の起工式を実施。起工式には実行委員会会長の川崎国雄同窓会長、記念事業委員長の梨本正實同窓会副会長等の実行委員会役員代表と施工業者代表等の20名が出席し、三条八幡宮宮司によって執り行われた。



上棟式(平成25年)



上棟の餅まき(平成25年)



外観ほぼ完成のトレーニング場(平成25年)

9月20日
竣工式



総合トレーニング場竣工(平成25年)

構造	鉄骨二階建て 東西長さ10間 南北長さ5間	一階床面積	168.63㎡(51.01坪)
		二階床面積	168.63㎡(51.01坪)
		延床面積	337.26㎡(102.02坪)



県中央工業高校

県中央工業高校

部活動史 学校別 インターハイ

運動部の記載記録は新潟県高等学校体育連盟年報による。
文化部の記載記録は生徒会新聞による。

	1958 昭和33年	1962 昭和37年	1963 昭和38年	1964 昭和39年	1965 昭和40年	1966 昭和41年	1967 昭和42年	1968 昭和43年	1969 昭和44年
二条実業高校定時制・ 二条工業高校定時制	部名／大会名／種目・結果・備考		◎バドミントン／北信越定通大会／ 団体優勝（三条実業）	◎バドミントン／北信越定通大会／ 団体優勝（三条実業）	◎バドミントン／北信越定通大会／ 団体優勝（三条工業）	◎バドミントン／北信越定通大会／ 団体優勝	◎バドミントン／北信越定通大会／ 団体優勝	◎バドミントン／北信越定通大会／ 団体優勝	
二条実業高校・二条工業高校・ 新潟県中央工業高校	部名／大会名／種目・結果・備考	◎卓球／鹿児島／シングルス・石田			◎山岳部／大分／金子徳蔵 ◎弓道／宮崎／団体男子決勝トーナメント進出・ 鈴木公平・井上孝志・土田俊司・伊藤六四司			◎ウエイト／広島／フライ級8位・石丸栄一 ◎ソフトテニス／広島／ ダブルス山岸辰雄・石川修	◎ウエイト／群馬／ライト級・升沢徳一郎 ◎弓道／千葉／団体出場 決勝進出 ◎ソフトテニス／長野／北信越3位 山岸辰雄・佐野慎二 ◎柔道／群馬／個人戦・高山誠一
燕工業高校定時制	部名／大会名／種目・結果・備考		開校	◎陸上部／全国定通大会／ （女子）鳥本・加藤ヒデ子 ◎陸上部／全国定通大会／ 走巾跳3位・渡辺秀一 ◎陸上部／北信越定通大会／ 走巾跳7位・渡辺秀一	◎陸上部／全国定通大会／ 1500m準優勝・五十嵐修		◎陸上部／全国定通大会（東京）／ 走幅跳・田野博行 ◎陸上部／全国定通大会（東京）／ 1500m7位・堀川鉄男 ◎陸上部／全国定通大会（東京）／ 走高跳優勝・土井好巳	◎水泳／北信越定通大会／ 200m自由形8位・磯部弘 ◎陸上／全国定通大会（東京）／ 1500m5位・堀川鉄男	◎水泳／北信越定通大会／ 200m自由形7位、 400m自由形6位・磯部弘
燕工業高校	部名／大会名／種目・結果・備考		開校	◎自転車／富山／ミリアンドアウトレース・ 山岸謙介 ◎自転車／富山／10000mポイントレース・ 塚田寛 ◎自転車／富山／実用車4000m速度競争・ 鳥部義信 ◎自転車／富山／4000m個人追抜競争・ 酒井三義 ◎自転車／富山／スクラッチレース・遠藤勉 ◎自転車／富山／1000mタイムトライアル・ 佐野正晴 ◎自転車／富山／4000m団体追抜競争・ 塚田寛、酒井三義、佐野正晴、遠藤勉	◎水泳／大分／400mリレー・ 柳田一好、高山幸夫、皆川清、伊藤隆夫 ◎水泳／大分／1500m自由形、 400m自由形・柳田一好 ◎自転車／大分／実用車4000m速度競争準 決勝進出・長谷川伝 ◎自転車／大分／ミリアンドアウトレース 準決勝進出・鳥部義信 ◎自転車／大分／4000m個人追抜・ 山岸謙介 ◎自転車／大分／10000mポイントレース・ 酒井三義 ◎自転車／大分／スクラッチレース6位、 1000mタイムトライアル・佐野正晴	◎水泳／青森／800mリレー・ 柳田一好、伊藤隆夫、高山幸夫、皆川清 ◎水泳／青森／400mリレー・ 柳田一好、伊藤隆夫、高山幸夫、皆川清 ◎水泳／青森／1500m自由形・柳田一好 ◎自転車／青森／100kmロードレース・ 小柳研児、塚原実、大矢昭三 ◎自転車／青森／4000m団体追抜5位・ 塚原実、小柳研児、中山広志、大矢昭三 ◎自転車／青森／ 4000m個人追い抜き・大矢昭三 ◎自転車／青森／実用車4000m速度競争・ 栗林繁幸 ◎自転車／青森／ミリアンドアウトレース・ 長谷川清 ◎自転車／青森／ 10000mポイントレース5位・小柳研児 ◎自転車／青森／スクラッチレース・中山広志 ◎自転車／青森／ 10000mタイムトライアル決勝進出・ 塚原実	◎水泳／福井／1500m自由形・柳田一好 ◎水泳／福井／400m自由形・ 柳田一好、霜島公和 ◎自転車／福井／200m自由形・霜島公和 ◎自転車／福井／団体11位 ◎自転車／福井／ 1000mタイムトライアル4位・塚原実	◎書道同好会／第3回学芸書道全国展特選・ 丸山俊昭 ◎自転車／広島／スクラッチレース・滝並忠弘 ◎自転車／広島／ミリアンドアウトレース 準決勝進出・小林照司 ◎水泳／広島／400m自由形、 1500m自由形・霜島公和 ◎剣道／広島／個人戦・長谷川義郎 ◎剣道／広島／個人戦ベスト8・小熊毅彦	◎美術／ 第15回全日本学生美術展佳作入選・田村忠男 ◎書道同好会／第4回学芸書道全国展特選・ 関保吉

部活動史 学校別 インターハイ

運動部の記載記録は新潟県高等学校体育連盟年報による。
文化部の記載記録は生徒会新聞による。

	1970 昭和45年	1971 昭和46年	1972 昭和47年	1973 昭和48年	1974 昭和49年	1975 昭和50年	1976 昭和51年	1977 昭和52年	1978 昭和53年	1979 昭和54年	1980 昭和55年	1981 昭和56年	1982 昭和57年	1983 昭和58年	1984 昭和59年	
二条実業高校定時制・ 二条工業高校定時制	◎バドミントン／北信越定通大会／ 男子個人優勝・鈴木裕	◎バドミントン／北信越大会／ 男子個人優勝・鈴木裕 ◎バドミントン／北信越大会／団体優勝	◎バドミントン／北信越大会／ 男子個人優勝・小林時男 ◎バドミントン／北信越大会／団体優勝	◎バドミントン／北信越大会／ 男子個人優勝・西湯豊 ◎バドミントン／北信越大会／団体優勝	◎バドミントン／北信越大会／ 男子個人優勝・渡辺 ◎バドミントン／北信越大会／団体準優勝		◎バドミントン／北信越定通大会／ 男子団体準優勝	◎バドミントン／北信越定通大会／ 男子団体準優勝	◎バドミントン／北信越定通大会／ 個人戦優勝・大山			◎バドミントン／北信越定通大会／ 団体戦・3位	◎バドミントン／北信越定通大会／ シングルスベスト8・田辺			
二条実業高校・二条工業高校・ 新潟県中央工業高校	◎ウエイト／和歌山／バンダム級7位・金子隆 ◎ウエイト／和歌山／団体初出場 ◎陸上部／三重／800m大湊哲夫 (県総体準優勝)、小柳敏夫(県総体4位) ◎ソフトテニス／和歌山／ダブルス 本間辰雄、佐藤雄三	◎ウエイト／徳島／バンダム級3位・古沢慎一 ウエイト／徳島／団体8位入賞		◎ウエイト／三重／フライ級小林寛 フェザー級渡辺一晴出場 ◎ウエイト／三重／ミドル級6位・目黒正男	◎ウエイト／福岡／ミドル級準優勝・目黒正男 ◎ウエイト／福岡／フライ級優勝・小林寛 ◎ウエイト／福岡／団体3位・小林寛・捧正直、 渡辺一晴、目黒正男、大久保義春 ◎卓球／シングルス笠原鉄男	◎ウエイト／山梨／ミドル級4位・松尾謙資 ◎ウエイト／山梨／フェザー級6位・斉藤成基 ◎ウエイト／山梨／団体5位・佐藤誠、星野敏夫、 宮島繁、斉藤成基、山口淳一、松尾謙資 ◎卓球／東京／ダブルス・山宮秀一、岩佐重久 ◎卓球／東京／シングルス・笠原鉄男	◎ウエイト／長野 ライトヘビー級優勝・小嶋栄二 ◎ウエイト／長野／バンダム級3位・新井克治 ◎ウエイト／長野／団体4位・新井克治、塩野 高敏、倉橋正弥、堀内喜良、小嶋栄二 ◎卓球／富山／シングルス2回戦・笠原鉄男	◎ウエイト／岡山 82・5kg級3位・堀内喜良 ◎卓球／鳥取／ダブルス・皆川雄治、渡辺昭義 ◎卓球／鳥取／シングルス・皆川雄治 ◎卓球／鳥取／シングルス・小柳雅弘 ◎卓球／鳥取／団体出場		◎ウエイト／愛媛 82・5kg級準優勝・大関義和	◎ウエイト／群馬／相田茂、山元正夫、大崎裕章、 渡辺一行	◎ウエイト／鹿児島 67・5kg級7位・山本正夫	◎卓球／愛知／ダブルス・成沢光行、上田忠紀 ◎卓球／愛知／シングルス・成沢光行 ◎卓球／愛知／団体出場	◎ウエイト／秋田 100kg級準優勝・川瀬和孝		
燕工業高校定時制	◎水泳／北信越定通大会／400m自由形4位、 1500m自由形5位・磯部弘 ◎陸上部／全国定通大会／ 1600mR4位・山口芳則 ◎陸上部／全国定通大会／ 400m、800m決勝進出・山口芳則	◎陸上部／全国定通大会／ 1500m・滝沢秀雄	◎陸上部／全国定通大会／松田隆男	◎陸上部／北信越定通大会／4位・松田隆男 ◎卓球部／北信越定通大会／堀・池田	◎柔道部／北信越定通大会／出場	◎陸上部／全国定通大会／砲丸投・高畑 ◎バドミントン／北信越定通大会／準優勝		◎バドミントン／北信越定通大会／ 男子個人3位・佐藤	◎排球部／北信越定通大会／準優勝	◎排球部／北信越定通大会／出場 ◎卓球部／全国定通大会／出場						
燕工業高校	◎自転車／東京 1000mタイムトライアル・近風力 ◎自転車／東京 スクラッチレース優勝・小林昭二	◎自転車／徳島／スクラッチレース・美濃井栄	◎自転車／岩手 スクラッチレース準優勝・美濃井栄	◎剣道／三重／団体戦 鈴木俊幸、関川信二、西野要一、 水藻一宏 他		◎自転車／長野 スクラッチレース3位・原田則夫						◎自転車／愛知／イタリアンチームレース 1000m個人追い抜き・金井裕一 ◎自転車／愛知／スプリント・羽賀達元 ◎自転車／愛知 1000mタイムトライアル・近風力	◎自転車／鹿児島 スクラッチレース優勝・小林昭二	◎自転車／秋田 10000mポイントレース・ 川崎健一 ◎自転車／秋田 4000m速度競争・ 金井裕一		

部活動史 学校別 インターハイ

運動部の記載記録は新潟県高等学校体育連盟年報による。
文化部の記載記録は生徒会新聞による。

	1985 昭和60年	1986 昭和61年	1987 昭和62年	1988 昭和63年	1989 平成元年	1990 平成2年	1991 平成3年	1992 平成4年	1993 平成5年	1994 平成6年	1995 平成7年	1996 平成8年
部名／大会名／種目・結果・備考 三条実業高校定時制・ 三条工業高校定時制					定時制課程閉課							
部名／大会名／種目・結果・備考 三条実業高校・三条工業高校・ 新潟県中央工業高校		◎ウエイト／山口／90kg級8位・阿部良介 ◎ウエイト／神奈川／全国高校選抜大会90kg級3位・阿部良介 ◎山岳部／山口／縦走・5位 （青木一寛、志田篤史、菅野勝一、高山光） ◎卓球／山口／ダブルス・霜鳥光央、大野一博 ◎卓球／山口／シングルス・霜鳥光央 ◎卓球／山口／団体出場	◎卓球／北海道 ダブルス・霜鳥光央、大野一博 ◎卓球／北海道／シングルス・霜鳥光央 ◎卓球／北海道／団体出場	◎山岳部／大阪／縦走・順位なし （鎌迫彰一郎、塩原剛、竹之内貴志、有本英之） ◎ウエイト／兵庫／全国高校選抜大会82・5kg級4位・諸橋弘樹 ◎ウエイト／兵庫／56kg級優勝・村山和晃 ◎卓球／兵庫／ダブルス・渡辺安平・時田雅之	◎書道／沖縄 全国高等学校総合文化祭書道部門・檜川仁志 ◎ウエイト／徳島 82・5kg級3位・諸橋弘樹 ◎卓球／高知／ダブルス・高橋定男・淡路和弘 ◎卓球／高知／シングルス・中村志津夫 ◎卓球／高知／シングルス・淡路和弘 ◎卓球／高知／シングルス・高橋定男 ◎卓球／高知／団体出場	◎山岳部／宮城／縦走・7位 （猪熊尚洋、松井英樹、大山岳宏、石村統） ◎ウエイト／宮城／56kg級8位・町田和道	◎山岳部／静岡／団体男子・14位 （石村統、近藤秀峰、高橋圭一、梨本繁治） ◎ハンドボール／静岡 学校対抗戦1回戦敗退	◎山岳部／石川／北信越大会 優秀校 ◎卓球／宮城／シングルス・小林伸吾 ◎ハンドボール／宮崎 学校対抗戦1回戦敗退	◎山岳部／栃木／団体男子・16位 （上杉譲、蝶名林勉、長谷川浩司、吉田弘行）	◎山岳部／富山／団体男子・9位 （吉田弘行、北村優、広瀬守彦、塚田大介） ◎卓球／富山／ダブルス・諸橋和明・野本哲也 ◎弓道／富山／団体男子（瀬戸川大介他）	◎山岳部／鳥取／団体男子・11位 （塚田大介、金子慎一郎、馬場晋哉、加藤寛進） ◎卓球／鳥取／ダブルス・諸橋和明・野本哲也 ◎卓球／鳥取／シングルス・田村剛 ◎ハンドボール／岡山 学校対抗戦1回戦敗退	◎山岳部／山梨／団体男子・6位（入賞） （加藤寛進、番馬誠、坪田昇、金子龍一） ◎卓球／山梨／ダブルス・吉川哲・頼所裕 ◎卓球／山梨／シングルス・熊倉勲
部名／大会名／種目・結果・備考 燕工業高校定時制			◎バドミントン／北信越定通大会／近藤善衛	◎バドミントン／北信越定通大会／男子個人戦 準優勝・近藤宗信	◎柔道／全国定通大会／重量級・長島寛 ◎バドミントン／北信越定通大会／男子個人戦 近藤宗信、内藤稔、加藤尚宗	◎柔道部／北信越定通大会／軽量級・富所猛夫 中量級・渡辺正道、丸山圭一郎、本間洋一 量級・遠藤公弘 ◎柔道部／全国定通大会／中量級・本間洋一 ◎バドミントン／北信越定通大会（長野県） 団体戦、個人戦・中原、内藤稔	◎柔道部／北信越定通大会／軽量級・星野啓之、 中量級・渡辺正道、重量級・丸山圭一郎 ◎柔道部／全国定通大会／出場 ◎バドミントン／北信越定通大会（富山県） 男子個人戦・宮島宏昭	◎柔道部／北信越定通大会／軽量級・湊誠将 ◎柔道部／全国定通大会／出場 ◎バドミントン／北信越定通大会（石川県） 男子個人戦優勝・宮島宏昭 ◎バドミントン／北信越定通大会（石川県） 団体戦準決勝進出	◎バドミントン／北信越定通大会 団体戦・準決勝進出 ◎バドミントン／北信越定通大会 1回戦・内山淳、準決勝進出・宮島宏昭 ◎柔道部／北信越定通大会 個人戦重量級2回戦・大橋一仁	◎バドミントン／北信越定通大会 個人戦・氏田直樹		
部名／大会名／種目・結果・備考 燕工業高校	◎自転車／石川／スプリント・朝妻稔	◎自転車／島根 4000m速度競争・永井義昭 ◎自転車／島根／スプリント・朝妻稔	◎自転車／北海道／スプリント・村山弘勝 ◎自転車／北海道／4000m速度競争・永井義昭	◎自転車／兵庫／ポイントレース・村山弘勝	◎自転車／高知 4000m速度競争・本間秀行 ◎自転車／高知 30000mポイント・広沢義昭	◎自転車／宮城 4000m速度競争・坪谷正洋	◎自転車／静岡 4000m個人追抜競争・坪谷正洋 ◎自転車／静岡 10000mタイムトライアル14位・中山善仁 ◎自転車／静岡／イタリアンチームレース9位・中山善仁、青木誠、本間秀行、坪谷正洋	◎自転車／静岡 4000m個人追抜競争・坪谷正洋 ◎自転車／宮崎 ポイントレース・相田英則 ◎自転車／宮崎／4000m速度競争・青木誠 ◎自転車／宮崎／スプリント・丸山裕二	◎自転車／栃木／ポイントレース・長谷川智行	◎自転車／富山 イタリアンパシユートレース28位 真田武尚、長谷川智行、高田宏史、瀬戸貴志	◎自転車／鳥取 イタリアンパシユートレース13位 山後正秀、小林弘、高田宏史、瀬戸貴志 ◎自転車／鳥取／3kmインディヴィデュアル・パシユート・小林弘 ◎自転車／鳥取 スプリント・瀬戸貴志、小林弘	

部活動史 学校別 インターハイ

運動部の記載記録は新潟県高等学校体育連盟年報による。
文化部の記載記録は生徒会新聞による。

	1997 平成9年	1998 平成10年	1999 平成11年	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年
<p>部名／大会名／種目・結果・備考</p> <p>三条実業高校定時制・ 三条工業高校定時制</p>									
<p>部名／大会名／種目・結果・備考</p> <p>三条実業高校・三条工業高校・ 新潟県中央工業高校</p>	<p>◎山岳部／京都／団体男子・準優勝（銀メダル） （番場誠、金子龍一、澤口耕一郎、相田司） ◎卓球／京都／シングルス・熊倉勲</p>	<p>◎ウエイト／香川／77kg級・今井大輔 ◎ウエイト／香川／62kg級・吉田雄太 ◎山岳部／高知／団体男子・6位（入賞） （佐藤大地、高野雄一、小林怜央、稲垣穂高） ◎卓球／香川／ダブルス・熊倉勲・米山尚之 ◎卓球／香川／シングルス・熊倉勲</p>	<p>◎山岳部／岩手／団体男子・8位 （小林怜央、原卓史、稲垣穂高、山浦隆法）</p>	<p>◎レスリング／新潟 H12年度全国選抜高等学校個人戦 50kg級8位・浅野健太、54kg級・佐藤豊、 58kg級・岩崎一真、69kg級・斎藤裕樹、 76kg級・岡村龍太郎、85kg級・田辺卓 ◎レスリング／新潟 H12年度全国選抜高等学校団体戦・ベスト16 ◎レスリング／岐阜／50kg級・木伏洋行 69kg級・萱森浩輝 ◎山岳部／岐阜／団体男子・12位 （外山進一、早川潤一、田中拓也、佐野恵介）</p>	<p>◎レスリング／全国選抜 50kg級渡辺隆幸、63kg級横山康太、 70kg級宮路高行、85kg級桜井紀宏出場 ◎レスリング／熊本 58kg級・岩崎一真、76kg級16位・岡村龍太郎、 54kg級佐藤豊、69kg級斎藤裕樹・出場 ◎レスリング／熊本／学校対抗戦・ベスト16 ◎山岳部／熊本／団体男子・17位 （田中拓也、佐野恵介、近藤慎一、五十嵐浩紀）</p>	<p>◎ウエイト／茨城／94kg22位・小林晋太郎 ◎レスリング／茨城／85kgベスト8・桜井紀宏、 50kg級・鈴木優出場 ◎レスリング／茨城／学校対抗戦 ◎山岳部／茨城／団体男子・3位（銅メダル） （森田豊、平田一也、長谷川拓、阪内優也）</p>	<p>◎レスリング／長崎／85kgベスト8・桜井紀宏、 54kg級・浜京介、熊倉大輔 ◎レスリング／長崎／74kg級優勝・宮路高行 ◎レスリング／長崎／学校対抗戦 ◎山岳部／長崎／団体男子・25位 （森田豊、平田一也、長谷川拓、武藤隆太） ◎弓道／長崎／個人男子・予選敗退・小林将大 ◎水泳部／長崎 50m自由形・予選敗退・関谷太佑</p>	<p>◎ウエイト／島根／94kg級25位・五十嵐肇 ◎レスリング／岡山／50kg級・横山和範、60kg級・ 川野宏洋、66kg級・酒井亮太、120kg級・ 北原優太郎 ◎レスリング／岡山／学校対抗戦・ベスト16 ◎山岳部／島根／団体男子・21位 （斎藤圭太、武藤隆太、佐藤智哉、蝶間林誠） ◎水泳部／島根／50m・100m・予選敗退・ 関谷太佑 ◎水泳部／島根／400mリレー・予選敗退 （坂井優太・関谷太佑・小林利光・横山正浩・ 諸橋辰徳）</p>	<p>◎レスリング／千葉／50kg級16位・五十嵐竜史、 66kg級・横田洋一、84kg級・黒田征邦、 120kg級・阿部翔一 ◎山岳部／千葉／団体男子・14位 （波塚哲也、岩崎一樹、岡村和哉、川村健太） ◎ウエイト／千葉／105kg級9位・五十嵐肇 ◎弓道／全国選抜大会（福岡県）／個人男子・ 準優勝、技能優秀者・小嶋哲仁 ◎水泳部／千葉 200m自由形予選敗退・諸橋辰徳</p>
<p>部名／大会名／種目・結果・備考</p> <p>燕工業高校定時制</p>		<p>定時制課程閉課</p>							
<p>部名／大会名／種目・結果・備考</p> <p>燕工業高校</p>		<p>◎自転車／香川／4km速度競争・山後孝弘</p>						<p>◎自転車／広島／スプリント4位・原田泰志</p>	<p>◎自転車／千葉 1kmタイムトライアル4位・相馬直樹 ◎自転車／千葉／チームスプリント優勝 本間龍輝、保科圭太、相馬直樹</p>

部活動史 学校別 インターハイ

運動部の記載記録は新潟県高等学校体育連盟年報による。
文化部の記載記録は生徒会新聞による。

		2006 平成18年	2007 平成19年	2008 平成20年	2009 平成21年	2010 平成22年	2011 平成23年	2012 平成24年	2013 平成25年	
二条実業高校定時制・ 二条工業高校定時制	部名／大会名／種目・結果・備考									
二条実業高校・二条工業高校・ 新潟県央工業高校	部名／大会名／種目・結果・備考	<ul style="list-style-type: none"> ◎自転車競技／大阪／3 kmタイムトライアル15位・武田直也 ◎レスリング／大阪／50 kg級・服部健太、55 kg級・土田尚人、74 kg級・高杉遼介 ◎レスリング／大阪／96 kg級ベスト16・阿部翔一 ◎レスリング／大阪／団体戦出場 ◎山岳部／奈良／団体男子・14位 ◎岡村和哉、川村健太、川村浩貴、岡田直史 ◎ウェイト／大阪／62 kg級・長野学 ◎弓道／大阪／個人男子 ◎弓道／個人男子 ◎予選不通過・小嶋哲仁 ◎水泳部／大阪／100 m 200 m 背泳ぎ ◎予選敗退・関谷和明 ◎機械工作／埼玉／全国ロボット競技大会 ◎橋梁模型部門7位・佐藤瞬 ◎科学技術／埼玉／全国ロボット競技大会 	<ul style="list-style-type: none"> ◎レスリング／佐賀／50 kg級・西野将司 ◎96 kg級・高橋卓也 ◎レスリング／佐賀／74 kg級ベスト8・高杉遼介 ◎レスリング／佐賀／学校対抗戦出場 ◎水泳部／佐賀／100 m、200 m 背泳ぎ・予選敗退・関谷和明 	◎山岳部／福井／北信越大会 順位なし	<ul style="list-style-type: none"> ◎レスリング／奈良／60 kg級・吉川蓮 ◎120 kg級・高橋祐輔 ◎山岳部／兵庫／団体男子・19位 ◎(森田恵太、山崎丈輔、大山清史、小林成行) ◎ウェイト／奈良／56 kg級19位・土田知典 	<ul style="list-style-type: none"> ◎山岳部／鹿児島／縦走・5位(入賞) ◎(山崎丈輔、大山清史、福原拳太、波塚高宏) ◎ウェイト／沖縄／56 kg級19位・土田知典 ◎弓道／沖縄／団体男子決勝トーナメント ◎1回戦敗退(阿部悠人・田辺秋晴・土田敏生・赤塚雅俊・増田凌・山崎嘉也) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎レスリング／岩手／50 kg級関口大輝、56 kg級金子聖也 ◎レスリング／岩手／50 kg級菅田啓一、55 kg級岡崎、60 kg級丸山康太、66 kg級大竹佳憲、74 kg級丸山康太、84 kg級飯浜慶太、96 kg級齊藤和希、120 kg級田村雅人 ◎レスリング／岩手／学校対抗戦出場 	<ul style="list-style-type: none"> ◎科学技術／鹿児島／高校生アイデアロボット競技 ◎卓球／青森／ダブルス・安藤博貴、松本大生 ◎山岳／青森／男子団体・17位 ◎(高橋将太、佐藤汰紀、難波翔太、藤田一馬) ◎弓道／岩手／個人戦 ◎3位・五十嵐大樹、赤塚雅俊 ◎ウェイト／岩手／個人戦 53 kg級上林達也、56 kg級金子聖也 ◎レスリング／岩手／50 kg級関口大輝、55 kg級岡崎、60 kg級菅田啓一、66 kg級大竹佳憲、74 kg級丸山康太、84 kg級飯浜慶太、96 kg級齊藤和希、120 kg級田村雅人 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自転車／新潟／スプリント・内藤雷太 ◎水泳／新潟／50 m・100 m 太田博 ◎レスリング／新潟／50 kg級・高橋一希、吉村諒 ◎55 kg級坂井直斗、60 kg級・高橋慶哉、84 kg級・村上健介、96 kg級齊藤和希 ◎レスリング／新潟／120 kg級5位・田村雅人 ◎レスリング／新潟／66 kg級ベスト16・荒井雄介 ◎レスリング／新潟／学校対抗戦出場 ◎弓道／長野／決勝トーナメント進出(海老名、清水、高野、川村、山本、田中) ◎卓球／長野／ダブルス・安藤博貴、松本大生 ◎山岳／新潟／団体優勝 ◎(波塚崇宏・藤田一馬・佐藤汰紀・高橋将太) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎山岳／大分／男子団体・20位(王田将、高井裕也、相場央、近藤貴史) ◎水泳／長崎／50 m・太田博 ◎ウェイト／長崎／62 kg級・田代悠祐 ◎69 kg級・大倉柘真 ◎弓道／長崎／決勝トーナメント進出 ◎レスリング／長崎／50 kg級・若月一弥、55 kg級・大倉嵐奈、84 kg級古川凌、120 kg級藤口敬
燕工業高校定時制	部名／大会名／種目・結果・備考									
燕工業高校	部名／大会名／種目・結果・備考	閉校・新潟県央工業高校に引き継がれる								

部活動史 学校別 国民体育大会

運動部の記載記録は新潟県高等学校体育連盟年報による。
文化部の記載記録は生徒会新聞による。

	1962 昭和37年	1963 昭和38年	1964 昭和39年	1965 昭和40年	1966 昭和41年	1967 昭和42年	1968 昭和43年	1969 昭和44年	1970 昭和45年	1971 昭和46年	1972 昭和47年	1973 昭和48年	1974 昭和49年	1975 昭和50年	1976 昭和51年	1977 昭和52年	
部名／大会名／種目・結果・備考 二条実業高校定時制・ 二条工業高校定時制																	
部名／大会名／種目・結果・備考 二条実業高校・二条工業高校・ 新潟県中央工業高校	◎卓球／岡山／シングルス：石田		◎自転車／新潟／400m速度競争優勝・丸山清人 ◎弓道／新潟／二条実業：少年男子（山田正田巻保、大石和夫）	◎山岳部／岐阜／選手：斎藤勲 監督：高橋小一郎		◎弓道／埼玉／近的10位、遠敵9位決勝進出ならず ◎弓道／埼玉／少年男子（高野富雄、稲田博、安達賢）	◎弓道部／長崎／長谷川博幸・本田和彦・佐藤正治 9位決勝進出ならず ◎山岳部／長崎／選手：長谷川一良 監督：金子達	◎弓道／福井／近的10位、遠敵9位決勝進出ならず ◎弓道／福井／少年男子（細川修英、安達賢介、丸山豊）			◎山岳部／鹿児島／選手：斎藤誠	◎ウエイト／千葉／ミドル級準優勝・目黒正男 ◎ウエイト／千葉／フェザー級5位・渡辺一晴 ◎ウエイト／千葉／フライ級4位・小林寛 ◎ウエイト／千葉／団体・準優勝 （新潟県高校選抜チーム）	◎ウエイト／茨城／ライトヘビー級7位・大久保義春 ◎ウエイト／茨城／ミドル級3位・渡辺一晴 ◎ウエイト／茨城／ライト級優勝・目黒正男 ※日本高校新記録樹立 ◎ウエイト／茨城／バンダム級6位・捧正直 ◎ウエイト／茨城／団体・準優勝 （二条工業高校単独チーム）	◎ウエイト／三重／ライト級優勝・松尾謙資	◎卓球／佐賀／笠原鉄男、新潟チーム3位に貢献 ◎ウエイト／佐賀／ライトヘビー級7位・堀内喜良 ◎ウエイト／佐賀／ミドル級優勝・小嶋栄一 ◎ウエイト／佐賀／バンダム級準優勝・新井克治 ◎ウエイト／佐賀／少年総合優勝・新井克治、小嶋栄一、堀内喜良	◎ウエイト／青森／82・5kg級3位・堀内喜良 ◎ウエイト／青森／75kg級4位・佐野利正 ◎ウエイト／青森／少年総合準優勝	
部名／大会名／種目・結果・備考 燕工業高校定時制						◎陸上部／埼玉／走高跳・土井好巳	◎陸上部／福井／走高跳予選敗退・土井好巳	◎水泳／長崎／800mリレー7位・磯部弘他	◎水泳／岩手／800mリレー・磯部弘他								
部名／大会名／種目・結果・備考 燕工業高校	◎自転車／岡山／小林利夫、志田和夫	◎自転車／山口／スクラッチレース・小林利夫、1000mタイムトライアル・塚田寛	◎自転車／新潟／4000m団体追抜き優勝・小林、塚田（吉田商高と混合） ◎自転車／新潟／実用車4000m速度競争5位・塚田寛 ◎自転車／新潟／スクラッチレース優勝・小林利夫	◎水泳／岐阜／400m自由形3位、800mリレー・柳田一好 ◎自転車／岐阜／スクラッチレース準優勝・佐野正晴、長谷川伝	◎水泳／大分／800mリレー・柳田一好ほか（東北・県新記録） ◎水泳／大分／400m自由形・柳田一好 ◎自転車／大分／4000m団体追抜き7位 ◎自転車／大分／1000mタイムトライアル8位・塚田寛	◎水泳／埼玉／柳田一好 霜島公和 ◎自転車／埼玉／塚原実、小柳研児、中山広志	◎水泳／福井／霜島公和 ◎自転車／福井／実用車4000m速度競争・準優勝堀江啓一	◎水泳／長崎／400m自由形8位・霜島公和（新潟日報賞受賞）		◎自転車／和歌山／スクラッチレース3位・美濃井栄	◎自転車／鹿児島／スクラッチレース5位・美濃井栄			◎自転車／三重／400m速度競争6位・原田則夫	◎自転車／佐賀／スクラッチレース優勝・原田則夫		

部活動史 学校別 国民体育大会

運動部の記載記録は新潟県高等学校体育連盟年報による。
文化部の記載記録は生徒会新聞による。

	1978 昭和53年	1979 昭和54年	1980 昭和55年	1981 昭和56年	1982 昭和57年	1983 昭和58年	1984 昭和59年	1986 昭和61年	1987 昭和62年	1988 昭和63年	1989 平成元年	1990 平成2年	1991 平成3年	1992 平成4年	1995 平成7年	1996 平成8年	1999 平成11年
部名／大会名／種目・結果・備考 二条実業高校定時制・ 二条工業高校定時制																	
部名／大会名／種目・結果・備考 新潟県中央工業高校 二条実業高校・二条工業高校	◎ウエイト／長野／60kg級4級・外山久徳	◎ウエイト／宮崎／75kg級4位・大山徹	◎ウエイト／栃木／90kg級：位・大関俊晴 ◎ウエイト／栃木／82・5kg級5位・大関義和 ◎ウエイト／栃木／75kg級優勝・佐野彰 ◎ウエイト／栃木／少年総合：準優勝 (二条工業高校単独チーム)		◎ウエイト／島根／67・5kg級8位・山本正夫		◎ウエイト／奈良／75kg級6位・須佐睦男	◎ウエイト／山梨／90kg級9位・阿部良介	◎ウエイト／沖縄／56kg級6位・村山和晃	◎ウエイト／京都／56kg級ジャーク3位： 村山和晃 ◎ウエイト／京都／56kg級スナッチ優勝： 村山和晃	◎ウエイト／北海道／56kg級トータル8位： 町田和道 ◎ウエイト／北海道／82・5kg級ジャーク 準優勝：諸橋弘樹 ◎ウエイト／北海道／82・5kg級スナッチ 優勝：諸橋弘樹	◎ウエイト／福岡／56kg級ジャーク7位： 町田和道 ◎ウエイト／福岡／56kg級スナッチ8位： 町田和道					◎レスリング／熊本／65kg級・星野正太郎、 70kg級：菅森浩輝 ◎レスリング／熊本／49kg級5位・佐野友之
部名／大会名／種目・結果・備考 燕工業高校定時制																	
部名／大会名／種目・結果・備考 燕工業高校	◎自転車／長野／1000m タイムトライアル・山崎純一	◎自転車／宮崎／1000m タイムトライアル・山崎純一	◎自転車／栃木／スクラッチレース・小林昭二	◎自転車／滋賀／スクラッチレース 準優勝・小林昭二	◎自転車／島根／500m速度競争 優勝・小林昭二	◎自転車／群馬／羽賀達元、金井裕一		◎自転車／山梨／スプリント・朝妻稔	◎自転車／沖縄／村山弘勝		◎自転車／京都／ポイントレース・鷲尾一 ◎自転車／京都／400m速度競争準決勝進出・ 村山弘勝	◎自転車／福岡／ポイントレース、ロードレース・ 坪谷正洋 ◎自転車／福岡／スプリント・中山善仁	◎自転車／石川／ロードレース・坪谷正洋 ◎自転車／石川／400m団体追抜競争・ 坪谷正洋、中山善仁 ◎自転車／石川／スプリント3位・中山善仁 ◎自転車／石川／4000m速度競争・坪谷正洋	◎自転車／山形／スプリント・丸山裕二	◎自転車／鳥取／スプリント・瀬戸貴志	◎自転車／鳥取／スプリント・高田宏史	◎自転車／熊本／1kmタイムトライアル・ 25位 治田俊裕

部活動史 学校別 国民体育大会

運動部の記載記録は新潟県高等学校体育連盟年報による。
文化部の記載記録は生徒会新聞による。

	2000 平成12年	2001 平成13年	2002 平成14年	2003 平成15年	2004 平成16年	2005 平成17年	2006 平成18年	2007 平成19年	2008 平成20年	2010 平成22年	2011 平成23年	2012 平成24年
部名／大会名／種目・結果・備考 二条実業高校定時制・ 二条工業高校定時制												
部名／大会名／種目・結果・備考 新潟県中央工業高校	<ul style="list-style-type: none"> ○レスリング／富山／50kg級・木伏洋行 ○レスリング／富山／69kg級5位・萱森浩輝 	<ul style="list-style-type: none"> ○レスリング／富山／58kg級・岩崎一真、69kg級齋藤裕樹 ○レスリング／宮城／76kg級5位・岡村龍太郎 	<ul style="list-style-type: none"> ○ウエイト／高知／94kg9位・小林晋太郎 ○レスリング／高知／76kg3位・宮路高行、85kg3位・桜井紀宏 ○水泳部／高知／200mリレーメンバー・関谷太佑 	<ul style="list-style-type: none"> ○レスリング／静岡／69kg級・熊倉大輔 ○レスリング／静岡／76kg級5位・宮路高行 ○レスリング／静岡／50kg級5位・渡辺隆幸 	<ul style="list-style-type: none"> ○レスリング／埼玉／50kg級・横山和範 ○レスリング／埼玉／120kg級5位・北原優太郎 ○水泳部／埼玉／800mリレー15位・諸橋辰徳 ○水泳部／埼玉／400m自由形39位・諸橋辰徳 	<ul style="list-style-type: none"> ○レスリング／岡山／96kg級3位・阿部翔一 ○レスリング／岡山／84kg級5位・黒田征邦 ○レスリング／岡山／50kg級・五十嵐竜史、66kg級・横田洋一 ○ウエイト／岡山／105kg級ジャーク8位・五十嵐肇 ○ウエイト／岡山／105kg級スナッチ8位・五十嵐肇 ○水泳部／岡山／400mメドレーリレー4位・関谷和明 ○水泳部／岡山／400mメドレーリレー800mリレー・諸橋辰徳 ○水泳部／岡山／100m自由形・諸橋辰徳 	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車競技／兵庫／ロードレース4km速度競争・武田直也 ○ウエイト／兵庫大会／69kg級・長野学 ○水泳部／兵庫大会／400mメドレーリレー7位・関谷和明 	<ul style="list-style-type: none"> ○レスリング／秋田／96kg級・高橋卓也、120kg級・高橋祐輔 ○レスリング／秋田／74kg級3位・高杉遼介 ○水泳部／秋田／400mメドレーリレー13位・関谷和明 ○水泳部／秋田／200m背泳・関谷和明 	<ul style="list-style-type: none"> ○レスリング／大分／120kg級5位・高橋祐輔、55kg級・伊藤貴之 ○山岳／大分／リード競技4位・ポルタリング競技8位・塚本奈々香 	<ul style="list-style-type: none"> ○レスリング／千葉／55kg級・岡駿 ○レスリング／千葉／50kg級5位・泉田隼希 ○ウエイト／千葉／56kg級 ○ジャーク10位・土田知典 ○ウエイト／千葉／56kg級スナッチ13位・土田知典 	<ul style="list-style-type: none"> ○水泳／山口／50m自由形・太田博 ○ウエイト／山口／56kg級・金子聖也 ○レスリング／山口／フリー74kg級・高杉、84kg級・飯浜、120kg級・田村 ○グレコ50kg級5位・関口、55kg級・泉田、60kg級・芦田 	<ul style="list-style-type: none"> ○水泳／岐阜／50m自由形・太田博 ○弓道／岐阜／団体メンバー・山本航大 ○レスリング／岐阜／84kg級・村上健介、50kg級・吉村諒 ○レスリング／岐阜／66kg級5位・荒井雄介 ○レスリング／岐阜／120kg級5位・田村雅人 ○レスリング／岐阜／96kg級5位・斉藤和希
部名／大会名／種目・結果・備考 燕工業高校定時制												
部名／大会名／種目・結果・備考 燕工業高校	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車／富山／スプリント8位・中山健 	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車／高知／1kmタイムトライアル3位・中山健 			<ul style="list-style-type: none"> ○自転車／埼玉／スプリント4位・原田泰志 	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車／岡山／スプリント6位・保科圭太 						

編集後記

100年の歴史は想像以上に重いものでした。

それも一つの学校の歴史ではなく、分離独立、統合という変遷を経ての歴史であって、そこに全日制・定時制とそれぞれに複数の課程を抱えてのもの。それぞれの卒業回数を単純に年数に換算すると252年になります。

探すほどに資料が出てきて、こなしきれないもの。

いくら探しても出てこないもの。

資料によっては同一事象でありながら一致しないもの。

写真などの紙媒体のものは劣化が激しく、どう保存していくのか。

整理しようのないほどに課題が多く、その都度戸惑うばかりでした。

最終的には、

①歴史を評価するのではなく客観的に整理して後世に伝えること。

②写真などのデータはデジタル化して保存・使用できること。

などなど、整理ルールを変えながら、最後は時間の切れ目が作業の終了となりました。

デジタルアルバム編では、多くの人にアルバム探しのご協力をいただきました。見つけれなかったものがあることは残念ですが、これを契機に見つけられることを期待しています。そして、デジタル化作業では忍耐的労働に多くの皆さんのご協力をいただきました。

部活動の伝統を辿る資料は、小嶋栄二先生が高体連保存のすべての「年報」を借り出して最終チェックをしてくださいました。

最後は、「プロにおまかせ」とばかり、岩橋印刷さんに限られた時間での作業をお願いしました。

発行に向けて寄せられた善意の数々、ありがとうございました。限られた行数ではありますが、ご協力いただいたすべての皆さんに感謝申し上げます。

昨今、デジタル化による弊害も指摘されていますが、どうか善意の気持ちでご覧いただくことをお願いして、100周年記念誌の編集後記といたします。

同窓会事務局長 吉田光二 (S46年卒)

創立百年 創立百周年記念誌

発行日 平成25年10月5日
発行者 新潟県立新潟県央工業高等学校同窓会
会長 川崎国雄
新潟県三条市東本成寺13-1
新潟県立新潟県央工業高等学校内
TEL: 0256-32-5251
編集者 記念事業委員長 梨本正實
印刷 岩橋印刷株式会社